

平成28年度
山口県学力定着状況確認問題
結果について



平成28年12月

山口県教育庁義務教育課

目 次

I	実施概要 P	1
II	教科の問題に関する結果 P	2
	1 小学校		
	（1）国語 P 2	
	（2）算数 P 7	
	（3）社会 P13	
	（4）理科 P16	
	2 中学校		
	（1）国語 P19	
	（2）数学 P22	
	（3）社会 P26	
	（4）理科 P29	
	（5）英語 P32	
III	児童生徒質問紙の結果 P	3 5
IV	資料：設問別正答率一覧 P	4 5

I 実施概要

1 目的

児童生徒の客観的な学力状況の経年的な把握と分析を通して、課題解決に向けた指導の工夫改善等の取組の充実を図る全県的な検証改善サイクルを確立し、県内全ての児童生徒の学力の確実な定着と向上を図る。

2 実施期日

平成28年10月26日（水）※学校の状況に応じて、10/24～10/28の期間に実施

3 実施対象及び実施内容

(1) 小学校

学 年	実施人数	内 容 (時 間)
小 学 校	第3学年	11,038人 国語、算数(各40分) 及び質問紙
	第4学年	10,992人 国語、算数(各40分) 及び質問紙
	第5学年	10,819人 国語、算数、社会、理科(各40分) 及び質問紙
	第6学年	11,287人 国語、算数(各40分) 及び質問紙
中 学 校	第1学年	10,851人 国語、数学(各45分) 及び質問紙
	第2学年	10,984人 国語、数学、社会、理科、英語(各45分) 及び質問紙

(2) 教科の問題について

○以下の①、②による総合的な問題とし、記述式の問題を一定の割合で出題する。

①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能などを中心とした問題

②知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などに関わる内容を中心とした問題

○問題は、調査実施時点までに学習していると想定される範囲とし、問題の程度は、対象学年までの学習指導要領を基準とする。

(3) 質問紙について

○学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する内容を問うものとする。

【データの処理について】

○各学年の実施人数について

- 各学年の実施人数は、教科の問題及び質問紙のいずれか一つ以上を実施した実児童生徒数を示している。

○平均正答率の算出方法について

- 各教科の平均正答率は、問題を実施した児童生徒全員の正答率を平均して算出している。
- 学校の教育課程上の理由等により一部の問題を実施していない児童生徒についても、全体に含めて算出している。

Ⅱ 教科の問題に関する結果

1 小学校

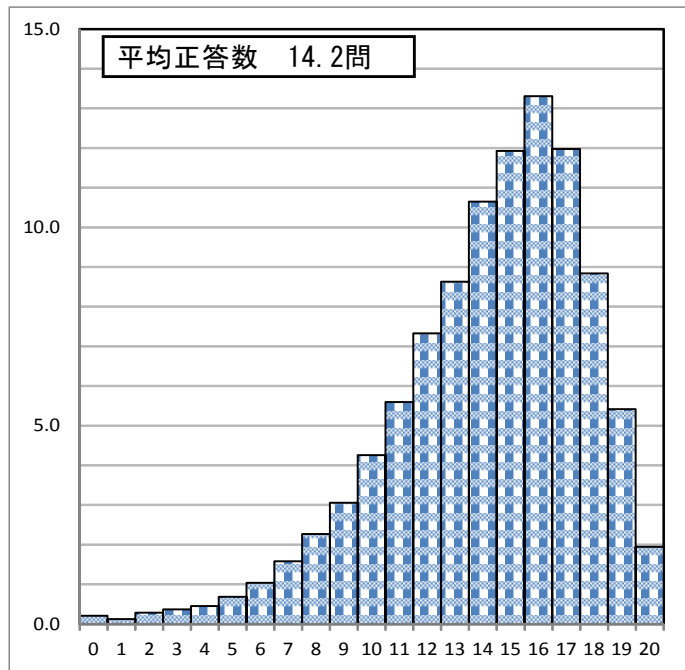
(1) 国語

【第3学年】

実施児童数	11,038 人
設問数	20 問
平均正答率	71.0 %

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)
問題	主として「知識」	17	73.5
	主として「活用」	3	56.7
学習指導 要領の 領域等	話すこと・聞くこと	3	78.1
	書くこと	2	43.9
	読むこと	6	70.1
	伝統的な言語事項と国語 の特質に関する事項	10	74.0
評価の 観点	話す・聞く能力	3	78.1
	書く能力	2	43.9
	読む能力	6	70.1
	言語についての 知識・理解・技能	9	75.3
問題形式	選択式	7	66.5
	短答式	11	78.8
	記述式	2	43.9

正答数分布グラフ (横軸:正答数 (問)、縦軸:割合 (%))



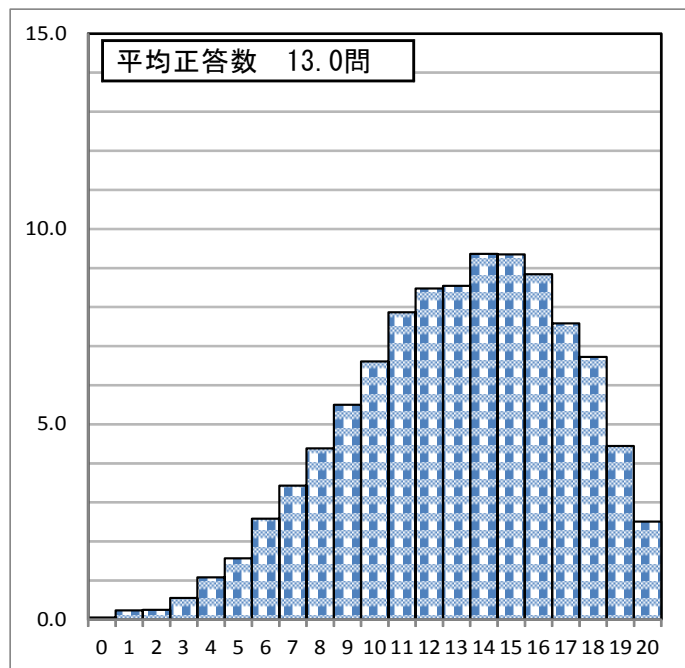
(全ての設問を実施した児童について算出)

【第4学年】

実施児童数	10,991 人
設問数	20 問
平均正答率	65.1 %

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)
問題	主として「知識」	15	69.1
	主として「活用」	5	53.0
学習指導 要領の 領域等	話すこと・聞くこと	3	50.9
	書くこと	5	61.3
	読むこと	4	56.6
	伝統的な言語事項と国語 の特質に関する事項	10	71.1
評価の 観点	話す・聞く能力	3	50.9
	書く能力	5	61.3
	読む能力	4	56.6
	言語についての 知識・理解・技能	8	77.1
問題形式	選択式	8	59.7
	短答式	9	77.5
	記述式	3	42.3

正答数分布グラフ (横軸:正答数 (問)、縦軸:割合 (%))



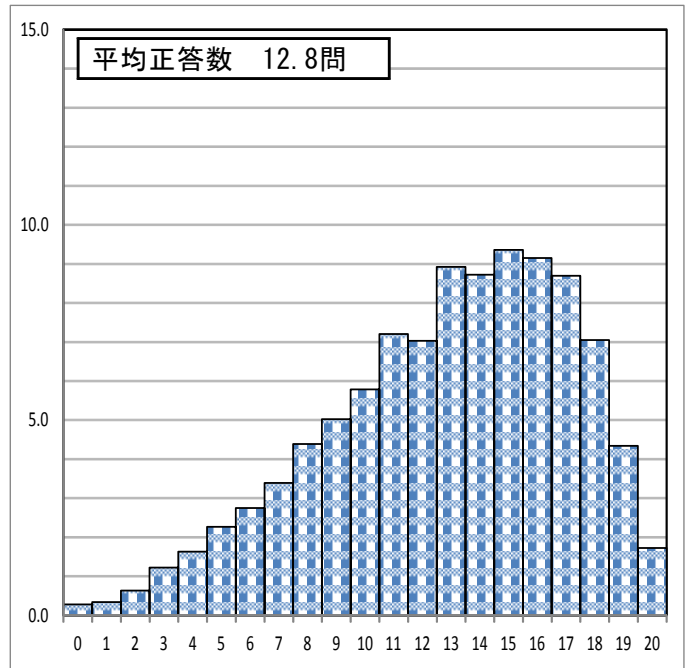
(全ての設問を実施した児童について算出)

【第5学年】

実施児童数	10,818 人
設問数	20 問
平均正答率	64.1 %

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)
問題	主として「知識」	15	69.0
	主として「活用」	5	49.6
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	3	71.5
	書くこと	3	50.1
	読むこと	5	52.8
	伝統的な言語事項と国語の特質に関する事項	9	72.7
評価の観点	話す・聞く能力	3	71.5
	書く能力	3	50.1
	読む能力	5	52.8
	言語についての知識・理解・技能	9	72.7
問題形式	選択式	9	63.8
	短答式	8	71.4
	記述式	3	45.7

正答数分布グラフ (横軸:正答数 (問)、縦軸:割合 (%))



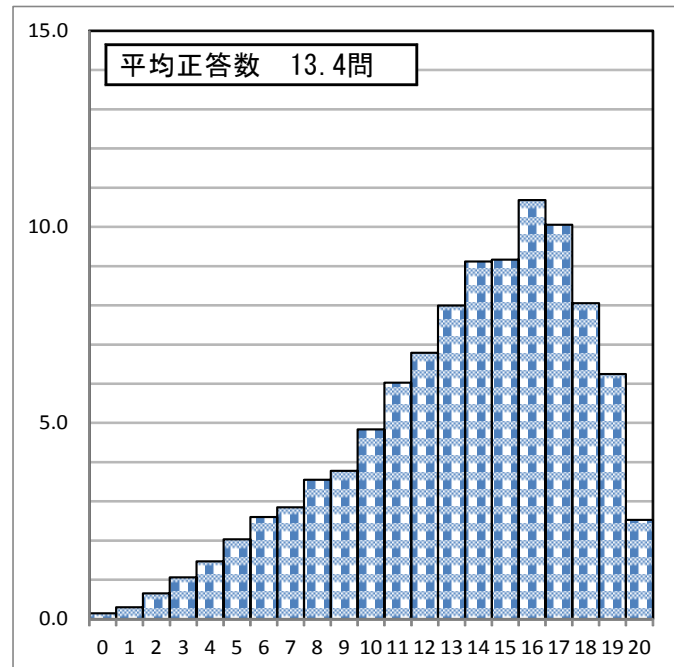
(全ての設問を実施した児童について算出)

【第6学年】

実施児童数	11,259 人
設問数	20 問
平均正答率	67.0 %

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)
問題	主として「知識」	17	68.8
	主として「活用」	3	57.2
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	3	67.4
	書くこと	2	66.8
	読むこと	7	57.5
	伝統的な言語事項と国語の特質に関する事項	8	75.4
評価の観点	話す・聞く能力	3	67.3
	書く能力	2	66.7
	読む能力	7	57.5
	言語についての知識・理解・技能	8	75.4
問題形式	選択式	7	64.0
	短答式	10	72.1
	記述式	3	57.1

正答数分布グラフ (横軸:正答数 (問)、縦軸:割合 (%))



(全ての設問を実施した児童について算出)

【結果から見られる成果と課題】

- 学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読むことについて、相当数の児童ができています。
 - ・「汽車（きしゃ）」（小3¹―1：92.8%）
 - ・「相談（そうだん）」（小4¹―2：97.0%）
 - ・「重ねる（かさねる）」（小5¹―1：95.3%）
 - ・「清潔（せいけつ）」（小6¹―2：95.7%）
- 国語辞典の正しい使い方を理解することについて、相当数の児童ができています。
 - ・国語辞典に出てくる順番で、最初に出る言葉を選択（小5¹四：88.2%）
- 話し合いの仕方を工夫することについて、相当数の児童ができています。
 - ・話し合いの様子から、工夫の説明として最も適切な文を選択（小5²―1：80.7%）
- グラフを基に分かったことを的確に書くことについて、成果が見られる。
 - ・グラフから分かることを選択（小6⁴―1：81.2%）
 - H28小6 全国調査 43.5% 「グラフを基に分かったことを的確に書く」
- ローマ字を正しく書くことについて、改善の傾向が見られる。
（小4¹四：64.6% 小5¹三：62.8% 小6¹三：73.6%）
H28小6 全国調査 50.9% 「平仮名で表記されたものをローマ字で書く」
- 接続詞の意味と用法について理解することについて、課題が見られる。
 - ・前後の文脈から適切な接続詞を選択（小3²二：62.1% 小4³―1：42.1%）
- 主語と述語を捉えることについて、課題が見られる。
 - ・文中の主語と述語を選択
（小3¹二：52.5% 小4¹二：53.2% 小5¹二：45.9% 小6¹二：45.1%）
- 筆者の主張を捉えることについて、課題が見られる。
 - ・筆者の主張が最も強く表れている一文を書き出す。
（小6³二：27.8%）
- 文章の内容や構成を的確に捉えることに課題が見られる。
 - ・あらすじを順番どおりに並べ替えること（小6⁵二：44.4%）
 - ・指定された内容が書いてある段落を選択（小5³二：52.1%）
- 記述式の問題（条件等に即応した記述）について、課題が見られる。
 - ・自分の考えを具体的に書くこと
（小4⁴五：23.6%、小5⁴三：29.2%、小5⁵三：44.8% 小6⁴三：52.3%）

正答率が80%以上であるものや、過去の調査等と比較して改善の傾向が見られるものを成果としてまとめるとともに、特に課題と見られる状況について、全体の傾向をまとめている。

※ ○は成果、●は課題を示している。

国語【小学校3、4年生】

(小学校3、4年生共通問題)

- 主語と述語を捉えることに課題が見られる。

次の文の「主語」と「じゅつ語」はどれですか。アからエまでの中から一つずつ選び、記号を書きましょう。

ぼくは、 おばあちゃんに 手紙を 書いた。
ア イ ウ エ

【正答】
(主語) ア
(じゅつ語) エ

小3 : 52. 5% 小4 : 53. 2%

(小学校3年生)

- 接続詞の意味と用法について理解することに課題が見られる。

【話し合いのようす】の中の (あ) にあてはまることばを、アからエまでの中から一つえらび、記号を書きましょう。

ア そして イ だから ウ なぜなら エ しかし

【正答】 ウ

小3 : 62. 1%

(小学校4年生)

- 記述式の問題(条件等に即応した記述)について、課題が見られる。

田村さんは、電化せい品がふえてきたことに注目し、その理由について、記事にまとめることにしました。あなたならどのような記事を書きますか。田村さんになったつもりで、次のじょうけんに合わせて書きましょう。

〈じょうけん〉

- 「田村さんが考えたこと」をもとに書くこと。
- 「です」「ます」などのていねいな言い方で書くこと。
- 三十字以上、五十字以内で書くこと。

【正答】

くらしを便利で、安全にしようとする願いがあって、電化せい品がふえてきました。

小4 : 23. 6%

国語【小学校5、6年生】

(小学校5、6年生共通問題)

- 主語と述語を捉えることに課題が見られる。

次の文の「主語」と「述語」はどれですか。アからオまでの中から、一つずつ選び、その記号を書きましょう。

ぼくは 給食の 中では カレーが 好きだ。
ア イ ウ エ オ

【正答】
(主語) ア
(述語) オ

小5 : 45.9% 小6 : 45.1%

(小学校5年生)

- 文章の内容や構成を的確に捉えることに課題が見られる。

A——のくわしい内容が書かれているだん落として適切なものを、アからオの中から一つ選んで、記号を書きましょう。

ア ①② イ ③④⑤⑥⑦⑧ ウ ⑨⑩
エ ⑪⑫⑬ オ ⑮

【正答】エ

小5 : 52.1%

(小学校6年生)

- 筆者の主張を捉えることについて、課題が見られる。

説明文には、筆者の主張が書かれています。筆者の主張がもっとも強く表れている段落を本文の——部1から3までの中から一つ選んで番号を書きましょう。また、その段落の中から、筆者の主張がもっとも強く表れている一文を選び、初めと終わりの五文字を書き出しましょう。なお、読点(、)や句点(。)も字数にふくみます。

【正答】3 旅には危険 ~ しょうか。

小6 : 27.8%

- 記述式の問題(条件等に即応した記述)について、課題が見られる。

あなたが図書委員だったら、この報告文の内容からどの本を選びますか。
③に入れる本の組み合わせを次から選んで○でかこみ、選んだ理由が分かるように、④の中に入る内容を、次の条件に合わせて書きましょう。

〈条件〉

- ・ 〈図2〉の結果から考えて書くこと。
 - ・ 選んだ二つの分野の言葉を使って書くこと。
 - ・ 書き出しに続けて、三十字以上、五十字以内で書くこと。
- なお、書き出しの言葉は字数にふくまない。

【正答】略

小6 : 52.3%

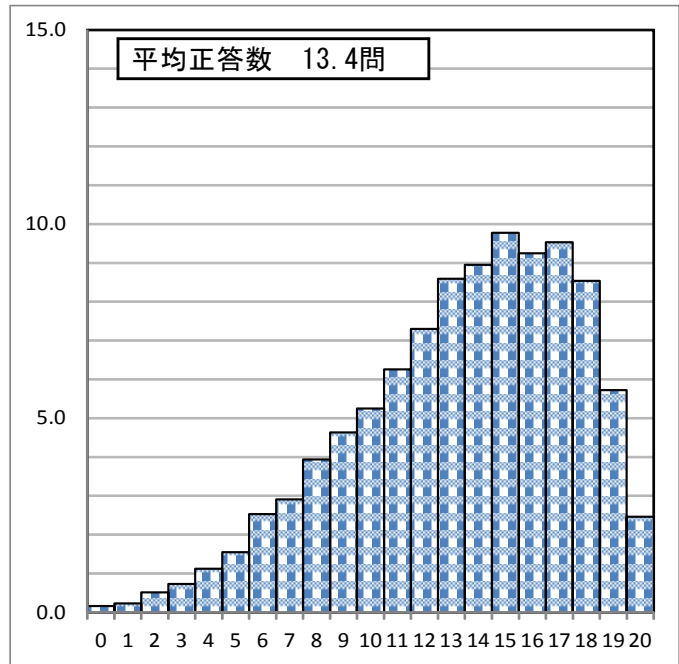
(2) 算数

【第3学年】

実施児童数	11,026 人
設問数	20 問
平均正答率	66.9 %

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)
問題	主として「知識」	15	71.8
	主として「活用」	5	52.5
学習指導要領の領域等	数と計算	9	73.4
	量と測定	3	62.7
	図形	2	50.9
	数量関係	6	64.8
評価の観点	数学的な考え方	4	51.5
	数量や図形についての技能	8	74.9
	数量や図形についての知識・理解	8	66.7
問題形式	選択式	6	65.3
	短答式	12	70.7
	記述式	2	49.4

正答数分布グラフ (横軸:正答数(問)、縦軸:割合(%))



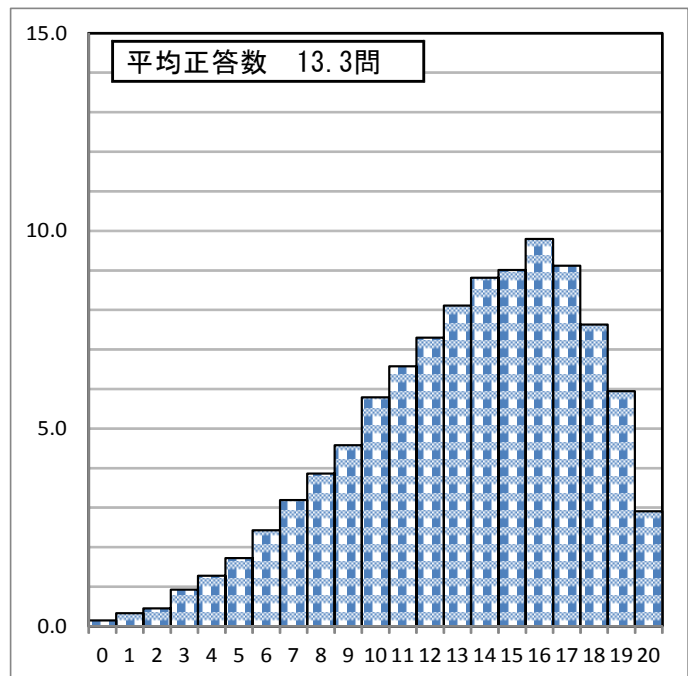
(全ての設問を実施した児童について算出)

【第4学年】

実施児童数	10,992 人
設問数	20 問
平均正答率	66.5 %

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)
問題	主として「知識」	15	71.0
	主として「活用」	5	53.0
学習指導要領の領域等	数と計算	11	73.5
	量と測定	3	59.4
	図形	2	54.0
	数量関係	4	58.6
評価の観点	数学的な考え方	5	53.0
	数量や図形についての技能	9	75.1
	数量や図形についての知識・理解	6	64.7
問題形式	選択式	5	62.2
	短答式	13	73.0
	記述式	2	35.1

正答数分布グラフ (横軸:正答数(問)、縦軸:割合(%))



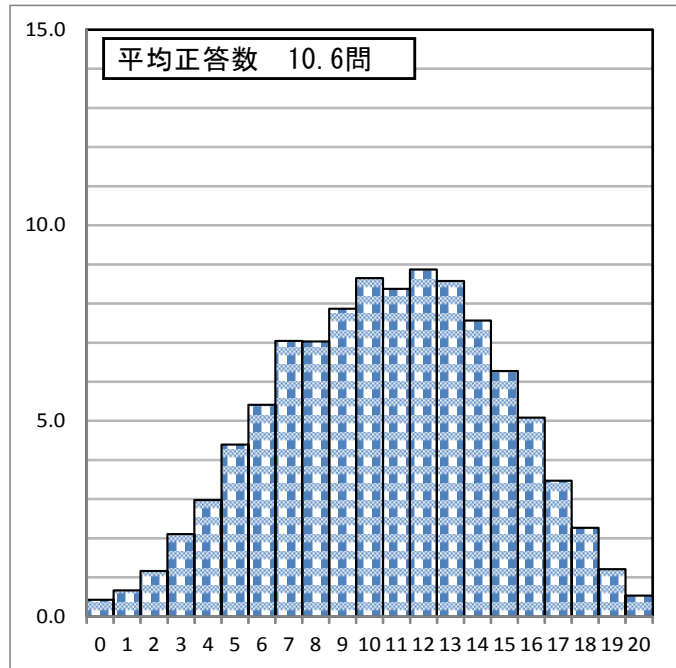
(全ての設問を実施した児童について算出)

【第5学年】

実施児童数	10,819 人
設問数	20 問
平均正答率	53.2 %

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)
問題	主として「知識」	14	55.9
	主として「活用」	6	46.8
学習指導要領の領域等	数と計算	10	56.8
	量と測定	3	47.6
	図形	3	58.0
	数量関係	4	44.7
評価の観点	数学的な考え方	6	43.1
	数量や図形についての技能	9	63.1
	数量や図形についての知識・理解	5	47.4
問題形式	選択式	6	50.9
	短答式	11	62.4
	記述式	3	24.1

正答数分布グラフ (横軸:正答数 (問)、縦軸:割合 (%))



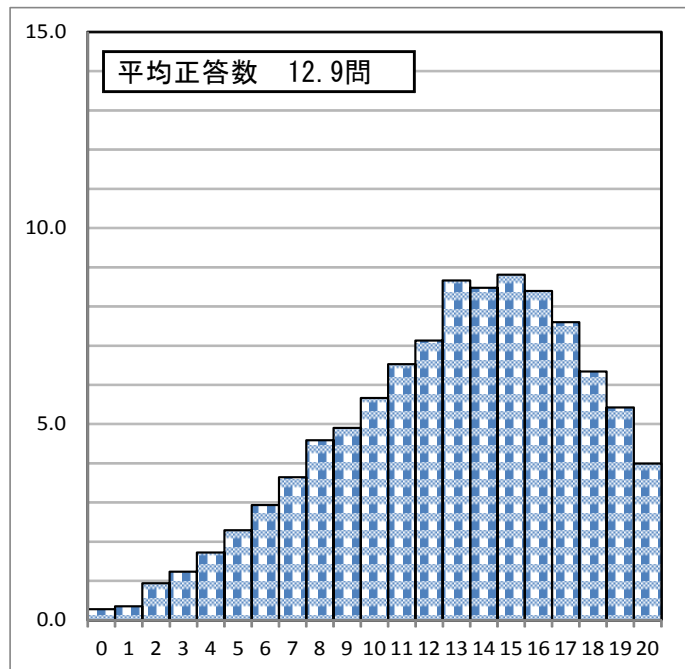
(全ての設問を実施した児童について算出)

【第6学年】

実施児童数	11,287 人
設問数	20 問
平均正答率	64.4 %

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)
問題	主として「知識」	13	68.3
	主として「活用」	7	57.0
学習指導要領の領域等	数と計算	11	60.6
	量と測定	3	56.6
	図形	3	82.8
	数量関係	3	67.4
評価の観点	数学的な考え方	7	54.3
	数量や図形についての技能	10	72.3
	数量や図形についての知識・理解	3	61.4
問題形式	選択式	4	66.5
	短答式	13	67.3
	記述式	3	48.8

正答数分布グラフ (横軸:正答数 (問)、縦軸:割合 (%))



(全ての設問を実施した児童について算出)

【結果から見られる成果と課題】

- 基本的な四則計算や数のしくみの理解に成果が見られる。
 - ・繰り上がりのある加法の計算をすること (小3 $\boxed{1}$ (1) : 88.4%, 小4 $\boxed{1}$ (1) : 93.6%)
 - ・除法の計算をすること (小3 $\boxed{1}$ (4) : 92.8%)
 - ・余りのある除法の計算をすること (小4 $\boxed{1}$ (5) : 86.7%)
 - ・同分母の分数の減法の計算をすること (小5 $\boxed{2}$ (4) : 87.1%)
 - ・小数の減法の計算をすること (小6 $\boxed{1}$ (1) : 89.4%)
 - ・分数と整数の乗法を計算して約分すること (小6 $\boxed{1}$ (6) : 87.9%)
 - ・不等号を使って数の大小関係を表すこと (小3 $\boxed{2}$ (2) : 92.6%)

- 数量関係や図形の基本的な内容の理解に成果が見られる。
 - ・除法の式を立式し、もとになる量の何倍になるかを求めること (小4 $\boxed{5}$: 81.8%)
 - ・折れ線グラフを読むこと (小4 $\boxed{10}$ (1) : 81.5%)
 - ・立方体の展開図で正しい面の位置を考えること (小5 $\boxed{6}$: 84.2%, 小6 $\boxed{11}$: 88.1%)
 - ・点対称な図形をかくこと (小6 $\boxed{5}$: 86.1%)

- 図形の構成やかき方、単位の換算、除法のきまりに課題が見られる。
 - ・三角形をもとに図形の構成を考えること (小3 $\boxed{8}$ (2) : 44.2%)
 - ・合同な三角形の正しいかき方を選択すること (小5 $\boxed{3}$ (3) : 30.5%)
 - ・単位をそろえて直方体の体積を求めること (小5 $\boxed{1}$ (5) : 20.2%)
 - ・被除数と除数に同じ数をかけても商は変わらないことを理解すること (小5 $\boxed{1}$ (2) : 15.5%)
 - ・商が被除数より大きくなるように除数をつくること (小6 $\boxed{2}$: 38.3%)

- 問題場面を読み取って式に表すことに課題が見られる。
 - ・問題場面を読み取り乗法の意味を正しく表す図を選択すること (小4 $\boxed{4}$: 46.8%)
 - ・表から数量の関係を読み取り、文字を使った関係式に表すこと (小6 $\boxed{12}$: 48.9%)

- 割合の内容の理解に引き続き課題が見られる。
 - ・2つの数量の関係を図と関連付けて考えること (小5 $\boxed{5}$ (1) : 41.4%, 小6 $\boxed{8}$ (1) : 42.6%)
 - ・比較量から基準量を求める式を立式すること (小6 $\boxed{8}$ (2) : 43.6%)

- 問題場面から情報を整理し、理由や方法等を説明することに引き続き課題が見られる。
 - ・目盛をもとに数直線上の数値を読み取る方法を説明すること (小3 $\boxed{5}$: 31.1%)
 - ・グラフを比べて読み取り、示された事柄が正しくない理由を説明すること
(小4 $\boxed{10}$ (2) : 24.4%, 小5 $\boxed{7}$: 27.8%)
 - ・1回転した角を等分した角度の求め方を式と言葉を使って説明すること (小4 $\boxed{11}$: 45.8%)
 - ・平行四辺形を12枚敷き詰めると最小のひし形となる理由を記述すること (小5 $\boxed{8}$: 21.5%)
 - ・式の形から計算しなくても結果の大小が比較できる理由を説明すること (小5 $\boxed{9}$ (2) : 23.0%)
 - ・概数の表す範囲について言葉や数を使って説明すること (小6 $\boxed{13}$: 27.6%)

正答率が80%以上であるものや、過去の調査等と比較して改善の傾向が見られるものを成果としてまとめるとともに、特に課題と見られる状況について、全体の傾向をまとめている。

※ ○は成果、●は課題を示している。

算数 【小学校3年生】

- 目盛をもとに数直線上の数値を読み取る方法を説明することに課題が見られる。

5 下の数直線を見て、問題に答えましょう。

⑦にあたる数について考えています。
目もりを表す数が、1つしかないで、⑦にあたる数は、いろいろと考えられます。

【あやさんのせつ明】
わたしは、の中に10000を入れました。
10000と20000の間には、目もりが10あるので1目もりの大きさは、1000になります。
⑦は、20000の目もりの2つ右だから、22000になります。

【問題】
もえさんは、の中に19000を入れました。の中に19000を入れると、⑦にあたる数はいくつになるでしょう。
もえさんのせつ明を下の方につづけて、あやさんのせつ明のように書きましょう。

【もえさんのせつ明】
わたしは、の中に19000を入れました。

【正答例】
19000と20000の間は1000で、目もりが10あるので、1目もりの大きさは、100になります。
⑦は、20000の目もりの2つ右だから、20200になります。

小3 : 31. 1%

【小学校4年生】

- 問題場面を読み取り、乗法の意味を正しく表す図を選択することに課題が見られる。

4 下の問題をとくために、ゆうたさんは、図をかいて考えることにしました。

【問題】
あめのつかみ取り大会に参加しました。
ひろとさんは、あめを4ことりました。
ちかさんは、ひろとさんの2倍のあめをとりました。
れいこさんは、ちかさんの3倍のあめをとりました。
れいこさんは、あめを何ことったでしょう。

ゆうたさんは、下のアからエの4つの図を考えました。この中から、正しい考え方の図を2つえらんで、その記号を書きましょう。

ア

イ

ウ

エ

12 **【正答】イ と エ**

小4 : 46. 8%

【小学校4・5年生】

- グラフをもとに、示された事柄が正しくない理由を説明することに課題が見られる。

10 さくらさんの学校の4年生は、長なわとび大会にむけて、練習をしています。
各学級で、練習の成果をたしかめるために、毎月1回、長なわをとんだ回数の記録をとっています。
4月から7月までの4か月間の長なわとびの記録の変化の様子を調べ、クラスごとに折れ線グラフにまとめました。

4年1組 長なわとびの記録

4年2組 長なわとびの記録

さくらさん

4年1組にくらべて4年2組のほうが、6月から7月までの線のかたむきが急です。
だから、4年1組にくらべて4年2組のほうが、6月から7月までの長なわをとんだ回数のふえかたは、大きいです。

さくらさんが言っている、 部は正しくありません。
そのわけを、グラフから読み取れる長なわをとんだ回数に着目して、言葉や数を使って書きましょう。

19 わけを言葉や数を使って書きましょう。

【正答例】
6月から7月までに長なわをとんだ回数は、1組が60回、2組が40回増えていて、2組より1組の方が増え方がおおいからです。

(2) さくらさんは、左の2つのグラフの、6月から7月までの長なわとびの記録の変化の様子を見くらべて、次のように言いました。

小4 : 24. 4% 小5 : 27. 8%

【小学校5年生】

- 被除数と除数に同じ数をかけても商は変わらないことを理解することに課題が見られる。

(2) にあてはまる数を、下のアからウの中から1つ選んで、その記号を書きましょう。

$$\begin{array}{ccccccc} 2.4 & \div & 0.3 & = & (&) & \\ \downarrow 10\text{倍} & & \downarrow 10\text{倍} & & \downarrow \text{倍} & & \\ 24 & \div & 3 & = & 8 & & \end{array}$$

ア 1
イ 10
ウ 100

【正答】ア

小5 : 15. 5%

- 2つの数量の関係を図と関連付けて考えることに課題が見られる。

5 青いテープと白いテープがあります。
青いテープの長さは2.8mです。
白いテープの長さは、青いテープの長さの0.8倍です。

(1) 青いテープと白いテープの長さの関係を正しく表している図はどれですか。下のアからエの図の中から1つ選んで、記号で答えましょう。

ア

ウ

イ

エ

【正答】ア

小5 : 41. 4%

- 式の形から、計算しなくても結果の大小が比較できる理由を説明することに課題が見られる。

9 体育で走りはばとびの学習をしています。
走りはばとびの記録は、「立ち幅とびの記録」と「50m走の記録」に関係があると言われています。
次の式で計算すると、走りはばとびのめあてとなるきよりが何cmになるかがわかります。

走りはばとびのめあてとなるきよりの求め方

立ち幅とびの記録 (cm) の1.5倍に280 (cm) を足し、50m走の記録(秒)の25倍を引きます。

【式】 (立ち幅とびの記録 × 1.5) + 280 - (50m走の記録 × 25)

たつやさん

まさおさん

	立ち幅とびの記録 (cm)	50m走の記録 (秒)
たつや	150	8.0
まさお	160	8.0

(2) まさおさんも、左の式を使って、自分のめあてとなるきよりを計算して求めようとしています。
たつやさんは、たつやさんとまさおさんの立ち幅とびと50m走の記録を見て、次のように言いました。

まさおさんのめあてのきよりは、ぼくのめあてのきよりよりも長くなること、計算をしなくてもわかるね。

たつやさん

たつやさんは、なぜ「長くなること、計算をしなくてもわかる」と言ったのですか。
そのわけを、言葉や式を使って書きましょう。

【正答例】 2人とも50m走の記録が同じなので、めあてを求める式の立ち幅とび×1.5だけで比べればよい。立ち幅とびの記録はまさおさんの方が長いから、めあてのきよりもまさおさんの方が長くなることが分かる。

小5 : 23. 0%

【小学校6年生】

- 商が被除数より大きくなるように除数をつくることに課題が見られる。

2 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7のカードが1枚ずつあります。
 下の式の□の中にカードを1枚ずつあてはめて、式をつくります。
 商が $\frac{3}{10}$ より大きくなるのは、□にどのカードをあてはめたと
 きでしょうか。
 あてはまるカードの数字をすべて書きましょう。

$$\frac{3}{10} \div \frac{\square}{5}$$

【正答】 1, 2, 3, 4

小6 : 38. 3%

- 2つの数量の関係を図と関連付けて考えること、比較量から基準量を求めることに課題が見られる。

8 青いテープと白いテープがあります。
 青いテープの長さは2.8mです。
 青いテープの長さは、白いテープの長さの0.8倍です。

(1) 青いテープと白いテープの長さを正しく表している図はどれですか。下のアからエの図の中から1つ選んで、記号で答えましょう。

ア

ウ

イ

エ

(2) 白いテープの長さを求める式を書きましょう。
 計算する必要はありません。

【正答】 (1)イ
(2) $2.8 \div 0.8$

小6 : (1) 42. 6% (2) 43. 6%

- 表から数量の関係を読み取り、文字を使った関係式に表すことに課題が見られる。

12 下の図のように、長方形と正方形の紙が重なっています。
 正方形の紙を1から4のように動かしたときにできる②と④の角について考えています。

表にして考えてみることにしました。

②の角度	0	10	20	30	...
④の角度	270	260	250	240	...

②の角度を x° 、④の角を y° としたとき、 x と y の関係を表す式を書きましょう。

【正答】 $x + y = 270$

小6 : 48. 9%

- 概数の表す範囲について、言葉や数を使って説明することに課題が見られる。

13 平成27年11月1日に行われた第8回下関海きょうマラソンで、フルマラソンの部に出場した人は、約9500人でした。この数は、四捨五入で百の位までのがい数にしたものです。
 ゆきさんのクラスでは、この数について話し合っています。

フルマラソンの部の出場者の数を、四捨五入で百の位までのがい数にしたとき、約9500人ということは、出場者は、9500人以上9549人以下ということでしょうか。みなさん、どう思いますか。

その通りです。ゆきさん、よく気がつきましたね。

先生

ゆきさんは、先生が言っている_____の部分について、間違っているとっています。

ゆきさんの発言を、「なぜなら、・・・」に続けて、言葉や数を使って書きましょう。

【正答例】
 四捨五入して百の位までのがい数にしたときに9500人になるのは、一番少なくて9450人、一番多くて9549人だから。

小6 : 27. 6%

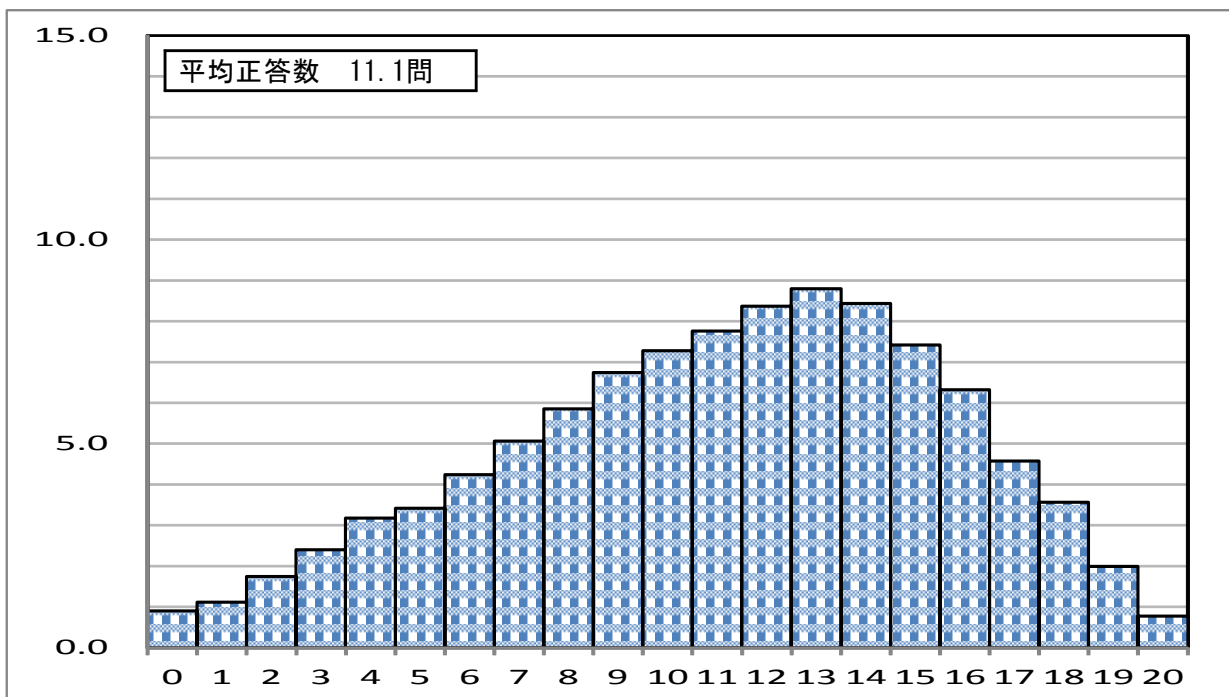
(3) 社会

【第5学年】

実施児童数	10,810 人
設問数	20 問
平均正答率	55.5 %

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)
問題	主として「知識」	13	59.0
	主として「活用」	7	48.9
学習指導 要領の 領域等	身近な地域	2	61.1
	地域の生産や販売	3	66.5
	地域の人々の健康な生活	0	—
	地域の人々の安全	2	65.9
	地域の古い道具、文化財や年中 行事	0	—
	県の地形や産業	4	52.1
	我が国の国土	4	50.7
	我が国の農業や水産業	5	49.0
評価の 観点	社会的な思考・判断・表現	5	52.6
	資料活用の技能	9	54.5
	社会的事象についての知識・理解	6	59.4
問題形式	選択式	8	55.3
	短答式	9	53.6
	記述式	3	61.3

正答数分布グラフ (横軸:正答数(問)、縦軸:割合(%))



(全ての設問を実施した児童について算出)

【結果から見られる成果と課題】

- 大陸の名前と位置に関しては、知識・理解の定着が見られる。
 - ・日本の西側にある大陸の名前を理解すること (〔6〕ア86.2%)
- 身近な商業施設の特色など、学習の対象が身近な場合には、知識・理解の定着が見られるとともに、資料の読み取りについても一定の成果が見られる。
 - ・会話から、買い物の仕方の特色を読みとること (〔2〕(1)74.2%)
 - ・店員の服装の違いに注目して、それぞれの役割や気を付けていることについて説明すること (〔2〕(3)73.9%)
 - ・話し合いの様子から、警察署の見学メモに当てはまる語句を読み取ること (〔4〕(1)73.1%)
- 複数の資料を関連付けて必要な情報を読み取ることにより課題が見られる。
 - ・資料(雨温図と地図)をもとに、帯広市と那覇市の気候の違いについて説明した文の空欄に適切な語句を答えること (〔7〕(1)30.3%)
 - ・複数の雨温図の中から上越市の雨温図を選ぶこと (〔7〕(2)24.7%)
- 条件に合う都道府県を示すことにより課題が見られる。
 - ・表を参考に、条件に合う都道府県を指示通りに示すこと (〔8〕(1)①37.5%)
- 県内の市町の位置及び名前に関する知識・理解の定着により課題が見られる。
 - ・県内の市の数を答えること (〔5〕イ46.9%)

正答率が80%以上であるものや、過去の調査等と比較して改善の傾向が見られるものを成果としてまとめるとともに、特に課題と見られる状況について、全体の傾向をまとめている。

※ ○は成果、●は課題を示している。

社会【小学校5年生】

- 複数の資料を関連付けて必要な情報を読み取ることに課題が見られる。

＜帯広市・上越市・高松市・那覇市の位置を示す日本地図と各都市の雨温図を提示＞

(1) はなさんは、帯広市と那覇市のグラフを見比べながら、下のようにそれぞれの気候の特色を発表しました。文中の（ア）と（イ）に当てはまる言葉を、それぞれの〔 〕から選んで解答用紙に○をつけましょう。

北海道の帯広市と沖縄県的那覇市のグラフには、大きな違いがあります。その一つは気温です。帯広市は、那覇市よりも冬の気温が低いです。また、1年間を通してみると、（ア）〔 帯広市 那覇市 〕の方が気温の差が大きいことが分かります。

もう一つの違いは降水量です。1年間を通して那覇市の方が降水量は（イ）〔 多い 少ない 〕です。

このように見ると、日本は南北に細長いので、北と南でずいぶん気候がちがうことが分かりました。

【正答】
 (1) ア 帯広市
 イ 多い
 <完答>

(2) 上越市のグラフを上記の1から4のグラフの中から選んで、番号で答えましょう。

小5 : (1) 30. 3% (2) 24. 7%

- 表を参考に、条件に合う都道府県を指示通りに示すことに課題が見られる。

＜新潟県が塗りつぶされた日本地図を提示＞

(1) 右の表は米の収穫量しゅうかくりょうが多い順にまとめたものです。

① 米の収穫量の多い都道府県上位五つに色をぬります。新潟県のぬり方を参考にして、解答用紙の日本地図に、残りの四つをえん筆でぬりましょう。

【正答 略】

順位	都道府県名	米の収穫量 <small>しゅうかく</small> (t)
1	新潟県	61万9200
2	北海道	60万2600
3	秋田県	52万2400
4	山形県	40万0900
5	福島県	36万5400
6	宮城県	36万4800
7	茨城県	35万6900
8	栃木県	31万0300
9	千葉県	30万7300
10	岩手県	28万7800

小5 : 37. 5%

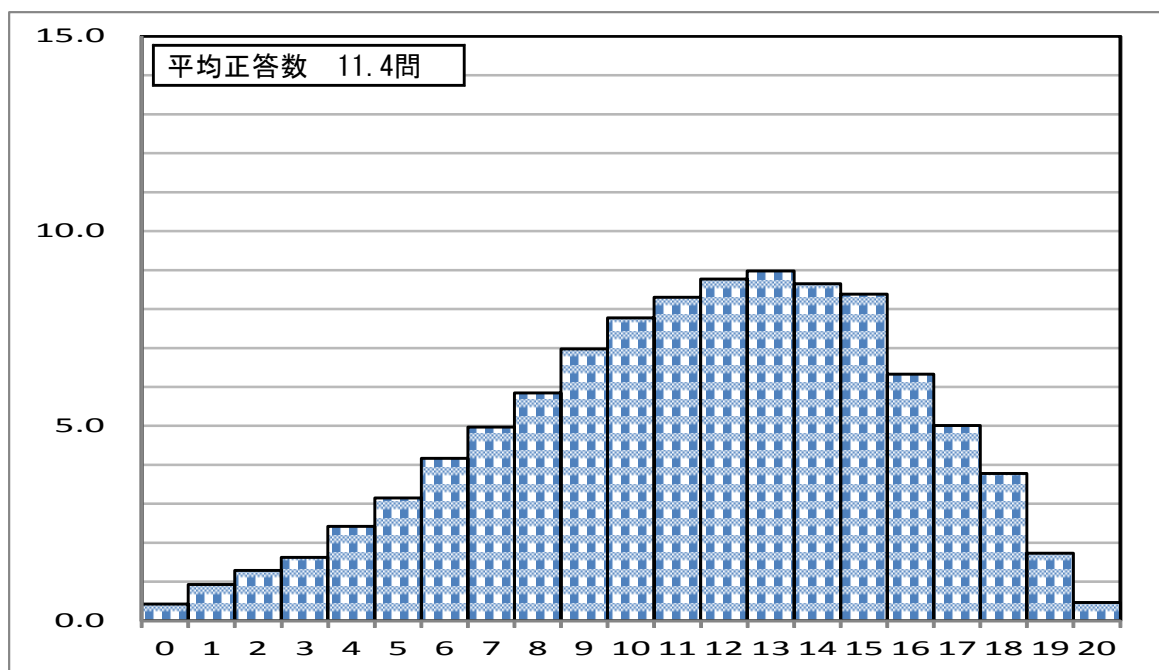
(4) 理科

【第5学年】

実施児童数	10,816 人
設問数	20 問
平均正答率	56.9 %

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)
問題	主として「知識」	13	58.7
	主として「活用」	7	53.5
学習指導 要領の 領域等	物質	2	68.8
	エネルギー	5	57.4
	生命	11	53.3
	地球	2	63.2
評価の 観点	科学的な思考・表現	6	51.7
	観察・実験の技能	4	50.9
	自然事象についての知識・理解	10	62.4
問題形式	選択式	7	63.6
	短答式	6	59.4
	記述式	7	48.0

正答数分布グラフ (横軸:正答数(問)、縦軸:割合(%))



(全ての設問を実施した児童について算出)

【結果から見られる成果と課題】

- 素材による電気伝導性の理解に成果が見られる。
 - ・ 電気回路のスイッチに用いるのにふさわしい材質について理解すること (7) (1) 81.1%
- 実験のための条件制御について課題が見られる。
 - ・ 正しい実験を行うために、必要な条件制御について記述すること (2) (2) 37.2%
- 植物の発芽についての理解に課題が見られる。
 - ・ 発芽に必要な養分をたくわえる種子の部分の名称と、でんぷんの有無を調べる方法を理解すること (3) (1) 25.7%
 - ・ 植物がよく育つための条件について理解すること (3) (3) 46.5%
- 乾電池のつなぎ方について作図することに課題が見られる。
 - ・ 乾電池の直列つなぎについて基礎的な用語を理解し、作図によって表現すること (7) (2) 36.0%

正答率が80%以上であるものや、過去の調査等と比較して改善の傾向が見られるものを成果としてまとめるとともに、特に課題と見られる状況について、全体の傾向をまとめている。

※ ○は成果、●は課題を示している。

理科【小学校5年生】

● 実験のための条件制御について課題が見られる。

(2) 次に発芽と温度の関係について、下の図のような実験の準備をしたところ、先生から「実験の条件がそろっていませんよ。」と言われました。そこで、Eのインゲンマメと実験の条件をそろえるために、20℃くらいの部屋に置いたFのインゲンマメにしたことを答えましょう。

○発芽と温度の関係

5℃くらいの冷蔵庫の中に置く。
E
水でしめらせただっしめん

20℃くらいの部屋に置く。
F
水でしめらせただっしめん

【正答例】
箱をかぶせて光を当てないようにする

種子	温度	空気	水	結果
E	温度を低くする	ふれている	あたえる	発芽しなかった
F	部屋の空気の温度と同じ			発芽した

小5 : 37. 2%

● 乾電池のつなぎ方について作図することに課題が見られる。

(2) せん風機の風を強くするために、かん電池をもう一つ用意しました。2個のかん電池をどのようにつないだら、風が強くなるでしょうか。次の図のせん風機とかん電池を線でつなぎましょう。また、そのつなぎかたは、何つなぎというのでしょうか。答えは、解答用紙の□の中に答えを書きましょう。

風の向き

【正答例】

直列 つなぎ

小5 : 36. 0%

2 中学校

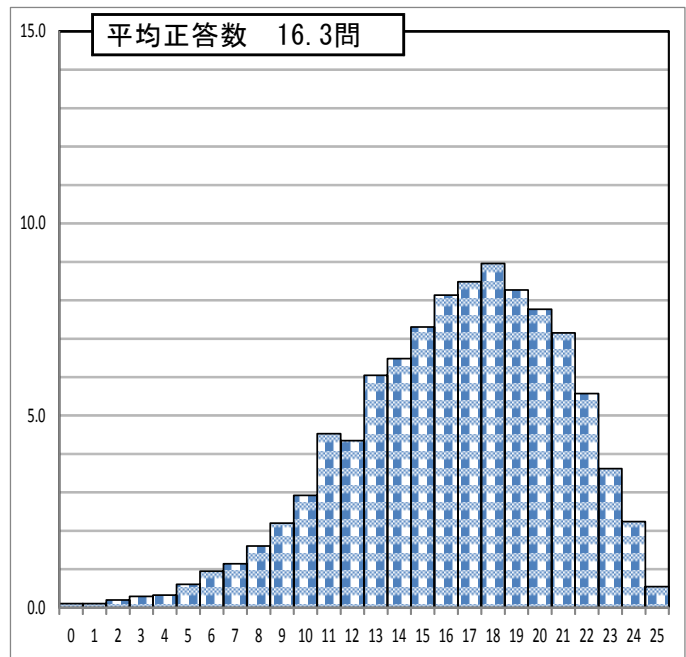
(1) 国語

【第1学年】

実施生徒数	10,851 人
設問数	25 問
平均正答率	65.4 %

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)
問題	主として「知識」	21	66.2
	主として「活用」	4	60.9
学習指導 要領の 領域等	話すこと・聞くこと	2	37.6
	書くこと	1	61.9
	読むこと	7	64.1
	伝統的な言語事項と国語 の特質に関する事項	17	67.1
評価の 観点	話す・聞く能力	2	37.6
	書く能力	1	61.9
	読む能力	6	64.4
	言語についての 知識・理解・技能	16	69.4
問題形式	選択式	15	66.4
	短答式	9	64.1
	記述式	1	61.9

正答数分布グラフ (横軸:正答数 (問)、縦軸:割合 (%))



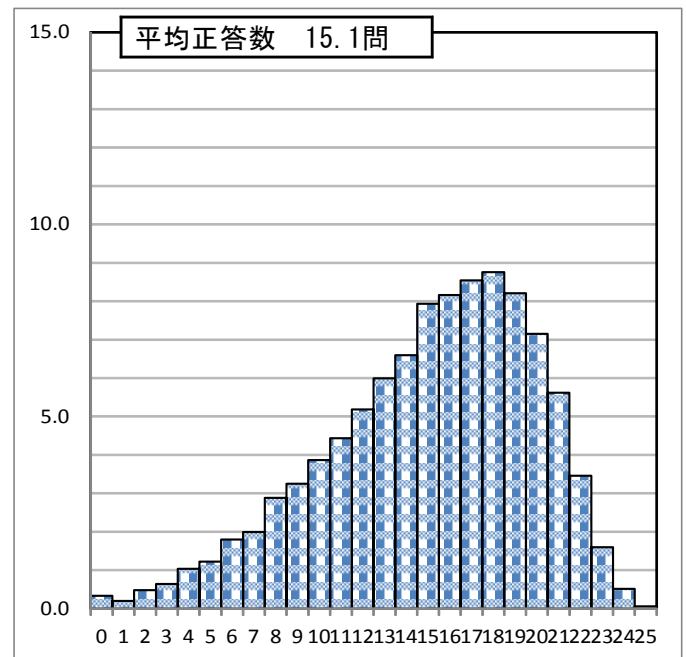
(全ての設問を実施した生徒について算出)

【第2学年】

実施生徒数	10,976 人
設問数	25 問
平均正答率	60.3 %

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)
問題	主として「知識」	19	63.1
	主として「活用」	6	51.5
学習指導 要領の 領域等	話すこと・聞くこと	2	55.0
	書くこと	3	48.8
	読むこと	12	49.9
	伝統的な言語事項と国語 の特質に関する事項	11	72.6
評価の 観点	話す・聞く能力	2	55.0
	書く能力	3	48.8
	読む能力	9	50.3
	言語についての 知識・理解・技能	11	72.6
問題形式	選択式	6	70.3
	短答式	17	57.2
	記述式	2	56.4

正答数分布グラフ (横軸:正答数 (問)、縦軸:割合 (%))



(全ての設問を実施した生徒について算出)

【結果から見られる成果と課題】

- 1・2年生において、文脈に即して漢字を正しく読んだり書いたりすることについては、相当数の生徒ができています。
 - ・「導^{みちび}き」(中1[3]ー3 : 92.7%)、「やさ(優)しく」(中1[1]ー3 : 80.5%)
 - ・「わら(笑)った」(中2[1]ー1 : 98.0%)、「家来^{けらい}」(中2[1]ー2 : 94.3%)
- 1年生において、語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うことについては、相当数の生徒ができています。
 - ・慣用句の使い方「手を焼く」(中1[2]ー2 : 83.3%)
H28 中3 全国調査52.1%「語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う」
 - ・ことわざの意味「石の上にも三年」(中1[2]ー4 : 82.8%)
- 1年生において、字形を整え、文字の大きさ、配列に注意して書くことについて、改善の傾向が見られる。(中1[2]三 : 76.0%)
H28 中3 全国調査52.1%「文字の形や大きさ、配列に注意して書く」
- 1年生において、主語と述語との関係を適切に捉えることに課題が見られる。
 - ・文の構成を理解し、主語を捉えること (中1[2]四 : 45.1%)
 - ・主語と述語との関係を適切に捉えて話すこと (中1[3]四 (1) : 29.3%)
- 2年生において、文章や描写に着目して登場人物の心情を読み取ることに課題が見られる。(中2[1]四 : 19.5%)
- 2年生において、説明的な文章を正確に解釈することに課題が見られる。
 - ・必要な情報を的確に読み取ること (中2[3]四 : 34.8%)
 - ・前後の段落に注意しながら必要な情報を的確に読み取ること
(中2[3]五 : 29.0%)
 - ・必要な情報を読み取り、該当するものを選ぶこと (中2[3]六 : 50.3%)
- 条件に即応して記述することに課題が見られる。
 - ・資料から必要な情報を読み取り、根拠を明確にして自分の考えを書くこと
(中1[4]三 : 61.9%)
 - ・読み取った情報を条件に合うように的確に表現すること (中2[4]四 : 33.6%)
 - ・自分の立場を決め、理由を適切に説明すること (中2[4]五 : 56.0%)

H28 中3 全国調査70.6%「文章の構成や表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えを具体的に書く」

H28 中3 全国調査 59.4%「本や文章などから必要な情報を読み取り、根拠を明確にして自分の考えを書く」

正答率が80%以上であるものや、過去の調査等と比較して改善の傾向が見られるものを成果としてまとめるとともに、特に課題と見られる状況について、全体の傾向をまとめている。

※ ○は成果、●は課題を示している。

国語【中学校 1、2 年生】

(中学校 1 年生)

- 主語と述語との関係を適切に捉えることに課題が見られる。

- 山田さんの発言の中で、主語と述語の関係が間違っている一文がある。その一文の主語を変えずに正しい表現に直しなさい。

山田 「(略) 筆者は独特なものを見方をしている文章だね。」

【正答例】 筆者は独特なものを見方をしているね。

中 1 : 2 9 . 3 %

(中学校 2 年生)

- 文章や描写に着目して登場人物の心情を読み取ることに課題が見られる。

- 「その言葉をまんじゅうといっしょにのみこんだ」とあるが、なぜ、「ぼく」はその言葉を言わなかったのかを考え、「～と気づいたから。」に続くように、20 字以内で答えなさい。

【正答例】 その人が亡くなっているかもしれない (と気づいたから。)
(19 字)

中 2 : 1 9 . 5 %

- 条件等に即応して記述することに課題が見られる。

- 河本さんは、「クの資料」から、はなっこりーのよいところを読み取れていません。「クの資料」から分かる、はなっこりーのよいところを答えなさい。

ク 9 月頃からは、涼しい山口市阿東町や岩国市錦町、美祢市などで栽培され、冬場は温暖な山口市や宇部市、下関市などで栽培され、5 月まで出荷されている。

【正答例】 夏の 3 か月以外の期間、県内各地で栽培できるところ。

中 2 : 3 3 . 6 %

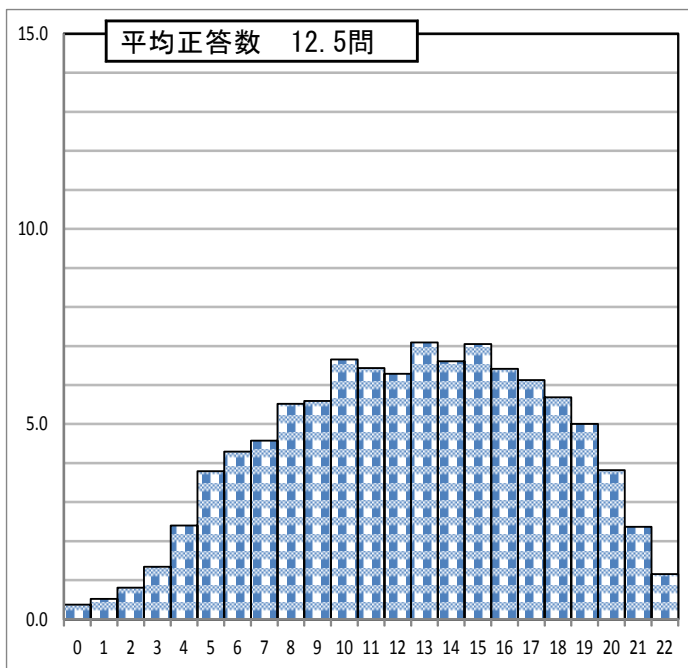
(2) 数学

【第1学年】

実施生徒数	10,828 人
設問数	22 問
平均正答率	56.9 %

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)
問題	主として「知識」	16	64.0
	主として「活用」	6	37.2
学習指導 要領の 領域等	数と式	10	54.7
	図形	5	55.0
	関数	4	58.7
	資料の活用	3	63.3
評価の 観点	数学的な見方や考え方	6	37.2
	数学的な技能	8	49.5
	数量や図形などについての 知識・理解	8	72.3
問題形式	選択式	6	65.8
	短答式	15	54.3
	記述式	1	37.2

正答数分布グラフ (横軸:正答数 (問)、縦軸:割合 (%))



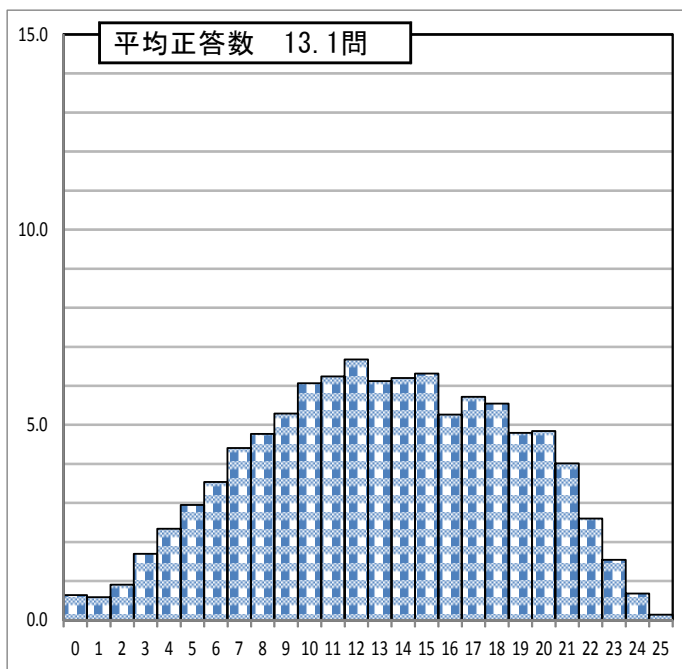
(全ての設問を実施した生徒について算出)

【第2学年】

実施生徒数	10,973 人
設問数	25 問
平均正答率	52.3 %

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)
問題	主として「知識」	19	60.8
	主として「活用」	6	25.4
学習指導 要領の 領域等	数と式	14	57.4
	図形	6	47.4
	関数	4	46.0
	資料の活用	1	35.7
評価の 観点	数学的な見方や考え方	6	25.4
	数学的な技能	12	58.3
	数量や図形などについての 知識・理解	7	65.0
問題形式	選択式	10	56.9
	短答式	13	51.9
	記述式	2	31.6

正答数分布グラフ (横軸:正答数 (問)、縦軸:割合 (%))



(全ての設問を実施した生徒について算出)

【結果から見られる成果と課題】

- 基本的な内容の理解には、おおむね成果が見られる。
 - ・直方体を構成する面について理解すること (中1 4(1) : 86.9%、中2 5(1) : 87.8%)
 - ・表から2つの数量の関係をとらえること (中1 5(2) : 87.8%)
 - ・度数分布表から正しく情報を読み取ること (中1 6(1) : 82.6%)
 - ・度数分布表から最頻値の属する階級を求めること (中1 6(2) : 91.4%)
 - ・正の数と負の数の意味を実生活の場面に結びつけて理解すること (中2 1(4) : 88.3%)
 - ・連立方程式の立式の際に、着目する必要がある数量を見いだすこと (中2 3(3) : 89.6%)

- 基本的な内容の一部については、理解に課題が見られる。
 - ・自然数の意味を理解すること (中1 1(3) : 62.9%、中2 1(3) : 41.4%)
 - ・一次関数の表から変化の割合を求めること (中2 6(2) : 45.8%)
 - ・反比例のグラフから x と y の関係を示した表を選ぶこと (中2 6(3) : 46.3%)
 - ・度数分布表から相対度数を求めること (中2 7 : 35.7%)
 - ・基準量と比較量の関係を理解すること (中1 2(3) : 64.2%、中2 2(4) : 64.6%)

- 文字を用いた式で表すことに課題が見られる。
 - ・数量の関係を文字式で表すこと (中1 2(2) : 34.2%、中2 2(2) : 32.4%)
 - ・事象を数学的にとらえ、文字式で表すこと (中2 11(1) : 7.4%)

- 知識や技能を活用して問題を解決することに課題が見られる。
 - ・具体的な場面で、絶対値や正の数・負の数を使った計算をすること (中1 7(1) : 47.3%)
 - ・指定されたルールの中で、正の数・負の数の計算を活用すること (中1 7(2) : 31.9%)
 - ・具体的な場面で、最適な概数を考察し、問題解決に活用すること (中1 8(1) : 15.9%)
 - ・単位量当たりの大きさを用いて全体の個数を求めること (中1 8(3) : 42.7%)

- 基本的な図形の作図や計算などに課題が見られる。
 - ・角の二等分線の作図について理解すること (中2 4 : 45.9%)
 - ・円周の長さから直径を求めること (中2 5(2) : 44.8%)
 - ・正四角錐の体積を求めること (中2 5(3) : 39.0%)
 - ・事象の中の図形的な特徴を読み取ること (中2 10(2) : 44.6%)

- 与えられた情報を正確に読み取り、筋道を立てて考えることに課題が見られる。
 - ・説明の筋道を読み取り、角の性質を使って説明を完成させること (中1 9(2) : 42.3%)
 - ・情報を読み取り、事象を数学的に解釈すること (中2 10(1) : 22.0%)
 - ・必要な情報を読み取り、数学的に解決すること (中2 11(2) : 15.3%)

- 日常的な事象を数学的に解釈して説明することに課題が見られる。
 - ・情報や図をもとに、角の大きさを使って図形の性質を説明すること (中1 9(1) : 37.2%)
 - ・式の意味を読み取って計算し、予想が正しいことを説明すること (中2 8 : 31.0%)
 - ・2つの数量の変化の表から段差の高さを求め、その理由を説明すること (中2 9 : 32.2%)


正答率が80%以上であるものや、過去の調査等と比較して改善の傾向が見られるものを成果としてまとめるとともに、特に課題と見られる状況について、全体の傾向をまとめている。

※ ○は成果、●は課題を示している。

数学【中学校1年生】

- 情報や図をもとに、角の大きさを使って図形の性質を説明することに課題が見られる。

9 緑化委員のかなたさんとゆうきさんは、図1のような縦5m、横10mの長方形の花だんの周りに柵をつくろうと考えています。柵は花だんの周りから1mはなれたところにつくり、角も円をえがき、1mはなすことにしています。



かなたさん 「花だんより1mはなれたところに柵をつくると、柵全体の長さは花だんの周りの長さより何m長くなるかな？」

ゆうきさん 「花だんの4つの辺のところには長方形ができるから、4つの直線部分の柵の長さはそれぞれ縦は5m、横は10mだと考えるよ。」

かなたさん 「柵の直線部分を合わせると、花だんの周りの長さと同じになるということだね。」

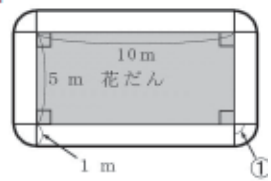
ゆうきさん 「そうすると、柵は角にある4つの曲線部分を合わせた長さだけ花だんの周りの長さより長くなるということになるね。」

かなたさん 「じゃあ、曲線部分を合わせると、何mになるのかな？」

ゆうきさん 「4つの曲線部分を合わせると、半径1mの円周と等しくなるよ。」

(1) ゆうきさんが、「4つの曲線部分を合わせた長さは半径1mの円周と等しい」と考えた理由を、次の図1の①の角の大きさに注目して説明しなさい。

【正答例】花壇の一つの角の周りの角は 360° で、長方形の花壇の一つの角は 90° 、花壇と柵の間も長方形だから①は 90° になる。4つの曲線部分を集めると集まった角は 360° で円1つ分となるから、半径1mの円周と等しいと考えた。



中1 : 37.2%

【中学校1・2年生】

- 自然数の意味を理解することに課題が見られる。

(3) 次のア～オの数の中から自然数をすべて選び、記号で答えなさい。

ア 0
イ -2.8
ウ 5
エ -6
オ 6

【正答】ウ オ

中1 : 62.9% 中2 : 41.4%

- 数量の関係を文字式で表すことに課題が見られる。

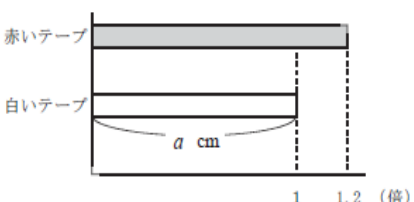
(2) ある数を5で割ると、商が a で余りが3になります。ある数を a を用いた式で表しなさい。

【正答】 $5a+3$

中1 : 34.2% 中2 : 32.4%

- 基準量と比較量の関係を理解することに課題が見られる。

(3) 次の図のように白いテープをもとにして、赤いテープの長さを表しました。赤いテープの長さを表す式を、次のア～エの中から1つ選び、記号で答えなさい。



ア $a+0.2$
イ $a-0.2$
ウ $a \times 1.2$
エ $a \div 1.2$

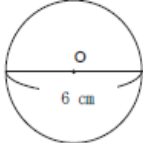
【正答】 ウ

中1 : 64.2% 中2 : 64.6%

【中学校2年生】

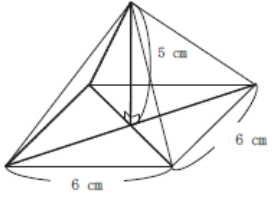
● 基本的な図形の計算に課題が見られる。

(2) 次の図の円周の長さを求めなさい。
ただし、円周率は π とします。



【正答】 6π cm

(3) 次のような正四角錐の体積を求めなさい。



【正答】 60 cm³

中2 : (2) 44.8% (3) 39.0%

● 式の意味を読み取って計算し、予想が正しいことを説明することに課題が見られる。

8 かずおさんは、ある2けたの正の整数と、その数の一の位と十の位を入れかえた数との差が、どんな特徴をもつ数であることを考えています。

2けたの正の整数が、
 61のとき $61 - 16 = 45$
 23のとき $23 - 32 = -9$
 85のとき $85 - 58 = 27$

これらの関係から、かずおさんは、次のことを予想しました。

【予想】
 2けたの正の整数と、その数の一の位と十の位を入れかえた数との差は、9の倍数になる。

かずおさんの予想が正しいことの説明を完成させなさい。

【説明】
 ある2けたの正の整数の十の位の数を x 、一の位の数を y とする。
 2けたの正の整数は、 $10x + y$
 十の位の数と一の位の数を入れかえた数は、 $10y + x$
 と表される。
 したがって、その2数の差は、

$$(10x + y) - (10y + x)$$

【正答例】

$$(10x + y) - (10y + x)$$

$$= 9x - 9y$$

$$= 9(x - y)$$

x, y は整数なので、 $x - y$ は整数どうしの差となり、整数。

よって、 $9(x - y)$ は、 $9 \times$ 整数となり、9の倍数。

したがって、予想は正しい。

中2 : 31.0%

● 事象を数学的にとらえて文字式で表すことや、必要な情報を読み取って数学的に解決することに課題が見られる。

11 6チームでサッカーのリーグ戦（総当たり戦）を行い、次の順位の決め方のルールにより、順位を決めることにしました。
このとき、次の(1)、(2)に答えなさい。

【順位の決め方のルール】

- ① 1試合ごとに、勝つとそのチームに勝点3、引き分けると両チームに勝点1が入る。(負けると勝点は0とする。)
- ② 順位は、勝点 → 得失点差 → 順位を決めるチーム間の対戦成績 → 得失点の優先順番で決まる。
- ③ 全く結果が等しくなった場合は、抽選をして決める。

最終戦のC対Fの1試合を残して、次のような試合結果になりました。

	A	B	C	D	E	F	勝点	勝	敗	引	差	位
A	○	●	△	○	△	○	8	2	1	2	+1	
B	●	○	○	●	●	●	3	1	4	0	-4	6
C	△	○	○	○	△	○	5	1	1	2	-1	
D	○	○	○	○	○	△	8	2	1	2	+2	
E	●	○	○	△	○	●	5	1	2	2	-1	
F	△	○	○	△	○	○	8	2	0	2	+3	

【リーグ戦の結果の見方】

○…勝ち、●…負け、△…引分、差…総得点と総失点の差、位…順位
 (例：Aチームの結果)
 Bには3-1で勝ち、Cには1-1で引き分け、Dには0-2で負け、
 Eには3-2で勝ち、Fには0-0で引き分け となるので
 総得点は $3 + 1 + 0 + 3 + 0 = 7$ 、総失点は $1 + 1 + 2 + 2 + 0 = 6$

(1) 5試合を行ったうち、勝ちが a 試合、負けが b 試合、残りの試合は引き分けだった場合の勝点を、 a, b を使って表しなさい。

(2) Cチームは、残った試合を勝っても1位になれるとは限りません。確実に1位になるためには、少なくとも何点差をつけて勝つ必要がありますか。

【正答】 (1) $2a - b + 5$

【正答】 (2) 少なくとも 3 点差

中2 : (1) 7.4% (2) 15.3%

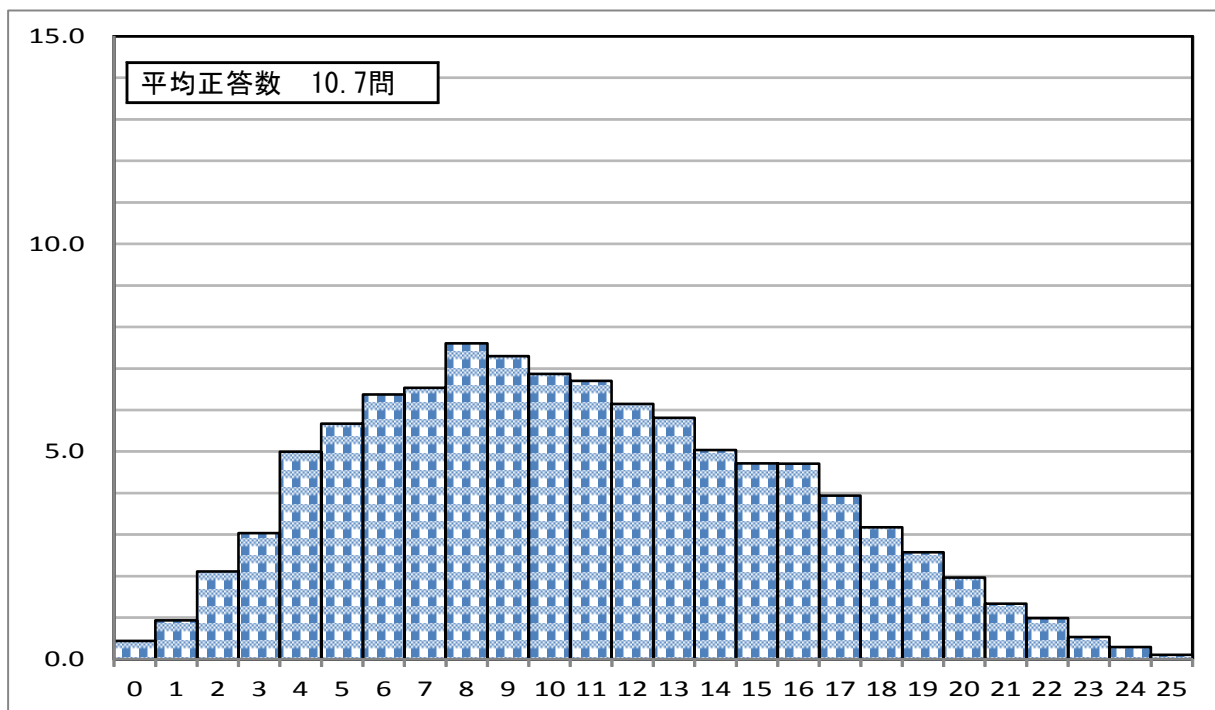
(3) 社会

【第2学年】

実施生徒数	10,982 人
設問数	25 問
平均正答率	42.7 %

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)
問題	主として「知識」	16	48.0
	主として「活用」	9	33.1
学習指導 要領の 領域等	世界の地域構成	3	50.2
	世界各地の人々の生活と環境	2	68.2
	世界の諸地域	5	48.3
	世界のさまざまな地域の調査	0	—
	日本の地域構成	1	34.0
	世界と比べた日本の地域的特色	2	27.2
	歴史のとらえ方	1	23.1
	古代までの日本	3	42.0
	中世の日本	7	34.1
	近世の日本	5	46.8
評価の 観点	社会的な思考・判断・表現	6	33.7
	資料活用 of 技能	7	40.2
	社会的事象についての知識・理解	12	48.5
問題形式	選択式	14	48.5
	短答式	5	44.1
	記述式	6	27.6

正答数分布グラフ (横軸:正答数 (問)、縦軸:割合 (%))



(全ての設問を実施した生徒について算出)

【結果から見られる成果と課題】

- 資料から、世界各地の人々のくらしの様子に関する情報を正しく読み取ることができる。
 - ・分布図から、世界の主な宗教の分布を読み取ること (2)(1)73.4%
- それぞれの時代における外国との交流に関する知識・理解の定着に改善が見られる。
 - ・鎖国下における日本の対外関係 (6)(3)59.2%

H27 中2 学力定着状況確認問題「鎖国下における日本の対外関係」57.6%
- 資料から必要な情報を読み取ったり、読み取った情報をもとに地域の特色等について説明したりすることに課題が見られる。
 - ・複数の資料から読み取ることができる情報をもとに、日本の農業の特色について説明すること (5)(3)24.6%
 - ・資料から、東南アジアの地域的特色について読み取ること (3)(3)26.5%
 - ・複数の資料から読み取ることのできる情報をもとに、アフリカの産業の課題について説明すること (4)(2)27.7%
- 記述式問題に課題が見られる。
 - ・承久の乱あるいは刀狩について、その内容と結果について説明すること (9)(2)20.9%
 - ・南蛮貿易、朱印船貿易の特徴について説明すること (7)(4)23.0%

正答率が80%以上であるものや、過去の調査等と比較して改善の傾向が見られるものを成果としてまとめるとともに、特に課題と見られる状況について、全体の傾向をまとめている。

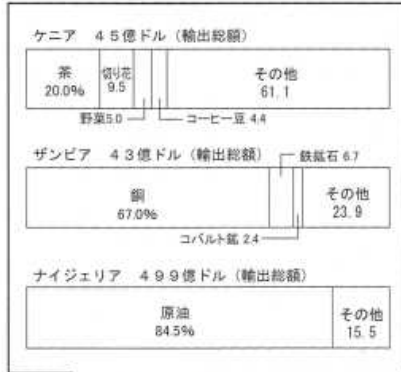
※ ○は成果、●は課題を示している。

社会【中学校2年生】

- 資料から必要な情報を読み取ったり、読み取った情報をもとに地域の特色等について説明したりすることに課題が見られる。

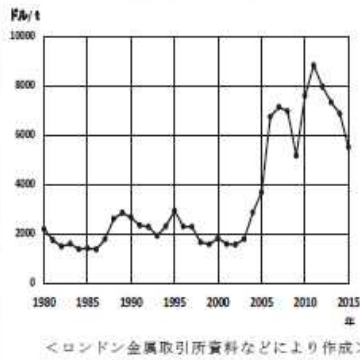
輸出品の種類が少ないと、その国の経済にどのような問題が生じるか。資料2から読み取ることができる内容にふれながら、資料1のザンビアを例にあげて説明しなさい。

資料1 アフリカ州の国の輸出品目(2009年)



<UN comtrade などにより作成>

資料2 銅の国際価格の推移



<ロンドン金属取引所資料などにより作成>

【正答例】

ザンビアを例に挙げて説明すると、輸出の大部分を銅にたよっているため、価格の変動が輸出総額に大きく影響し、経済が不安定になりやすい。

中2 : 27.7%

- 記述式問題に課題が見られる。

D班の調べた三つの貿易の中から、①南蛮貿易か②朱印船貿易のどちらか一つを選んで、その貿易の特徴を説明する文を解答用紙の(い)に当てはまるように答えなさい。なお、貿易の特徴については、次の条件のうち、二つ以上がふくまれるように答えなさい。

- <条件>
1. その貿易に関わった人
 2. その貿易の相手国(地域)
 3. その貿易に使われた書類(証明書)
 4. その貿易で取引されたおもな品物

【正答例】 <「朱印船貿易」を選んだ場合>

東南アジアの国々との貿易で、徳川家康らが、外国と貿易する大名や商人に渡航を許可する朱印状を渡して貿易を進めた。日本は銀を輸出し、中国産の生糸や絹織物などを輸入した。

中2 : 23.0%

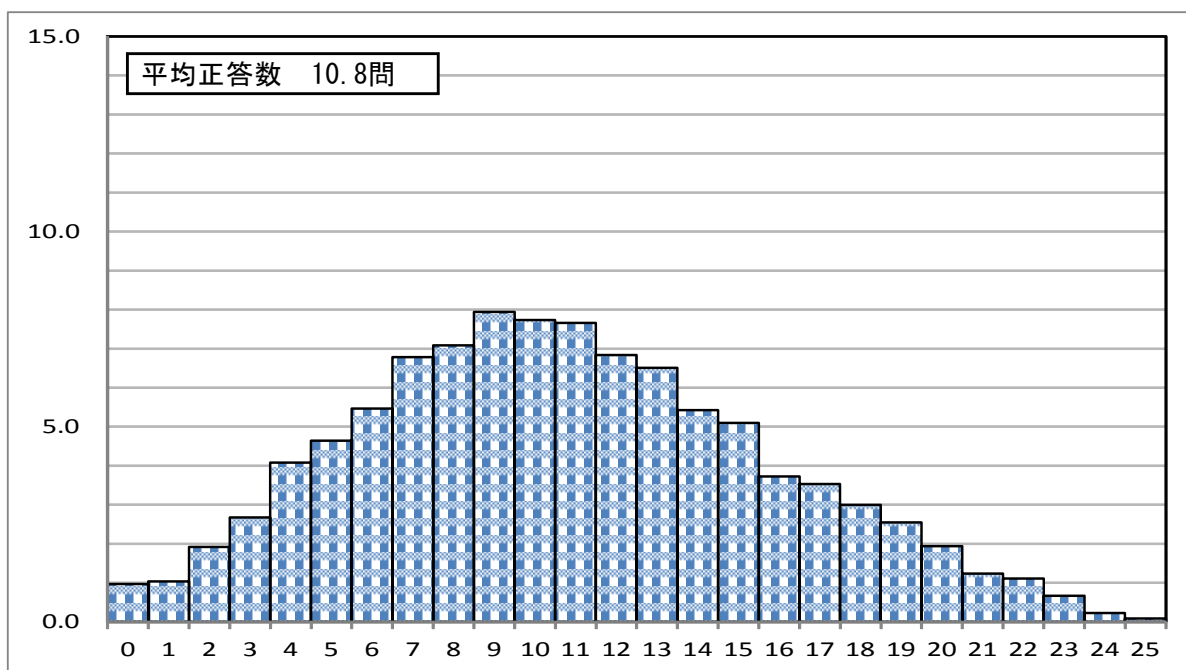
(4) 理科

【第2学年】

実施生徒数	10,617 人
設問数	25 問
平均正答率	43.4 %

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)
問題	主として「知識」	19	40.0
	主として「活用」	6	48.4
学習指導 要領の 領域等	エネルギー	6	25.2
	粒子	8	40.5
	生命	6	64.2
	地球	5	37.8
評価の 観点	科学的な思考・表現	10	38.2
	観察・実験の技能	3	38.1
	自然事象についての知識・理解	12	46.3
問題形式	選択式	8	33.0
	短答式	11	45.4
	記述式	6	48.4

正答数分布グラフ (横軸:正答数(問)、縦軸:割合(%))



(全ての設問を実施した生徒について算出)

【結果から見られる成果と課題】

- 実験のグラフから比例関係にあることを見出すことに成果が見られる。
 - ・おもりの重さとばねののびが比例していることを理解すること
(6) (2) 82.8%
 - ・地震による災害について理解すること
(8) (3) 83.0%

- 計算を伴う問題に課題が見られる。
 - ・溶媒と溶質について理解し、質量パーセント濃度を求めること
(5) (1) 16.5%
 - ・浮力について理解すること (6) (3) 8.6%
 - ・音の速さを求めること (7) (1) 17.0%
 - ・音が伝わる時間と速さから、距離を計算すること (7) (2) 15.4%

- 実験データに基づいて類推することに課題が見られる。
 - ・化学変化によって、原子の種類が変化しないことを理解すること
(1) (1) 17.8%

- 浮力による見かけの重さを読み取ることに課題が見られる。
 - ・フックの法則について理解することや、沈んでいる深さと浮力とは無関係であることを理解すること (6) (4) 20.9%

- 溶解度の違いによって起こる現象をとらえることに課題が見られる。
 - ・水溶液の性質及び溶解度について理解すること (1) (3) 38.1%)
H27 中3 全国調査「同じ量の水に同じ量の炭酸水素ナトリウムと炭酸ナトリウムをそれぞれ加えたとき、どちらが炭酸水素ナトリウムであるかを選ぶ」33.4%

正答率が80%以上であるものや、過去の調査等と比較して改善の傾向が見られるものを成果としてまとめるとともに、特に課題と見られる状況について、全体の傾向をまとめている。

※ ○は成果、●は課題を示している。

理科【中学校2年生】

● 実験データに基づいて類推することについて課題が見られる。

1 砂糖水を加熱してできるべっこうあめはふくらまないのに、砂糖水に炭酸水素ナトリウムを加えて加熱すると、ふくらんでカルメ焼きができる。山口さんは、この理由を調べるため、炭酸水素ナトリウムだけを加熱してみることにした。図1のような装置を用いて、炭酸水素ナトリウムを乾いた試験管に入れて加熱したところ、気体と液体が発生し、白い粉末が試験管に残っていた。①気体を集めた試験管に石灰水を入れてよく振ると、石灰水は白くにごった。また、②加熱した試験管の口近くについていた液体に青色の塩化コバルト紙をつけると赤色に変化した。次の問いに答えなさい。

(1) このとき起こった化学変化が炭酸水素ナトリウムの分解のみであると考え、下線部①と②から炭酸水素ナトリウムに3種類の原子が含まれていたことがわかる。それら3種類の原子の記号をそれぞれ答えなさい。

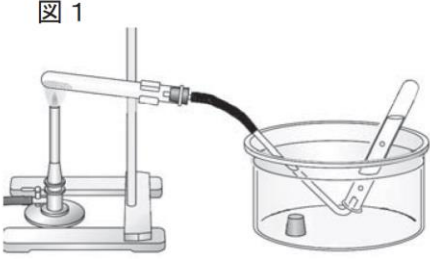


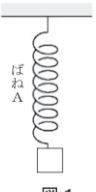
図1

【正答例】
H、C、O

中2：17.8%

● 沈んでいる深さと浮力とは無関係であることの理解に課題が見られる。

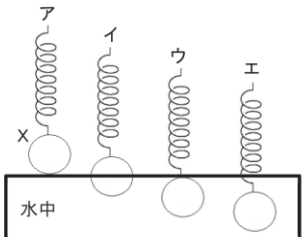
6 山口さんは、ニュートンばねばかりが、ばねの伸びとばねにかかる力の大きさの関係を利用した測定器具であることに興味をもった。この関係を確かめるため、図1のようにばねAに重りをつるすことでばねAに力を加え、そのときのばねAの伸びを調べた。表1は、このときばねAに加えた力の大きさと、ばねAの伸びを記録したものである。次の問いに答えなさい。ただし、100gの物体にはたらく重力の大きさを1Nとする。



ばねAに加えた力 [N]	0	2.0	4.0	6.0	8.0	10.0
ばねAの伸び [cm]	0	2.0	4.1	6.0	7.9	10.0

図1

(3) 図3の模式図のように質量900gの物体XをばねAにつるし、イ～エのように物体Xを少しずつ水中に沈め、ばねの伸びを調べた。表2は、その結果である。表2の空欄①、②に入る値をそれぞれ求めなさい。



	ア	イ	ウ	エ
ばねAの伸び [cm]	①	8.5	8.0	②

図3

【正答例】
① 9.0
② 8.0

中2：15.4%

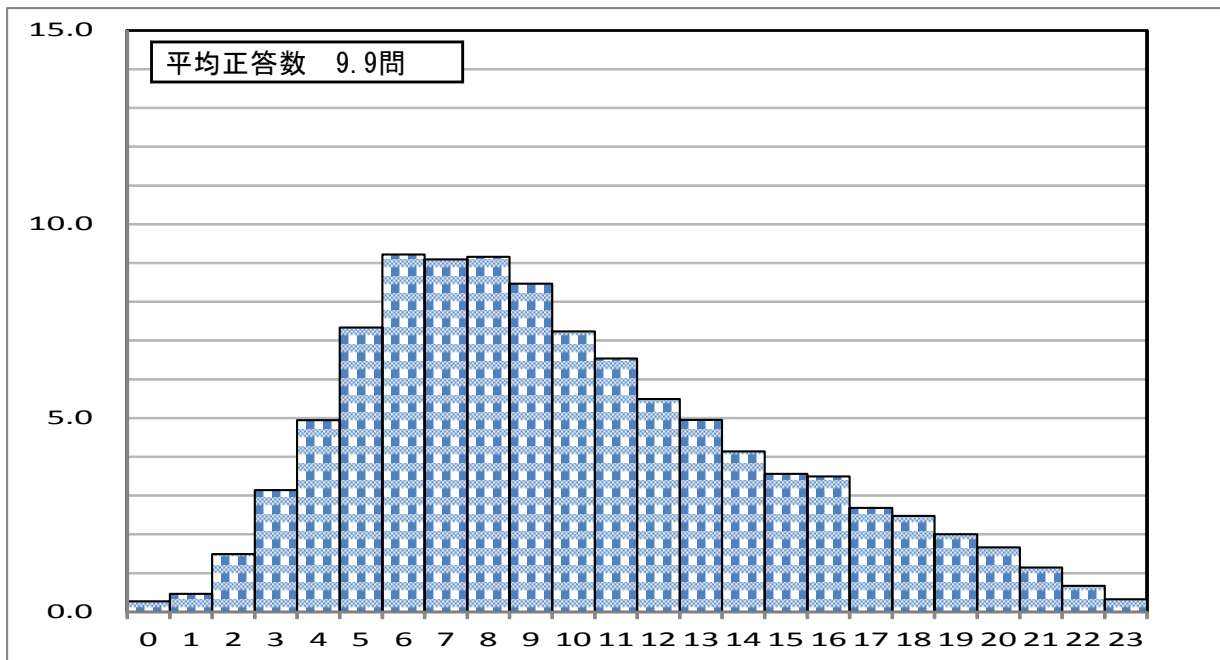
(5) 英語

【第2学年】

実施生徒数	10,984 人
設問数	23 問
平均正答率	42.9 %

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率 (%)
問題	主として「知識」	18	49.0
	主として「活用」	5	21.6
学習指導 要領の 領域等	聞く	6	61.8
	読む	12	42.4
	書く	5	21.6
評価の 観点	外国語表現の能力	5	21.6
	外国語理解の能力	15	46.1
	言語や文化についての知識・理解	3	62.6
問題形式	選択式	14	54.9
	短答式	2	15.4
	記述式	7	26.9

正答数分布グラフ (横軸:正答数 (問)、縦軸:割合 (%))



(全ての設問を実施した生徒について算出)

【結果から見られる成果と課題】

- 英文を聞き、絵を見て状況を判断する問題については、相当数の生徒ができている。
 - ・絵の中の人物の動作を正しく表現した英文を聞き取ること (1)(2)95.3%

- 英語で書かれた情報を読み取り、英語で問われた質問に適切に答えることに課題が見られる。
 - ・“What can people do on October 27th?” という質問に “Learn about Ichiro’s life.” という答えを選ぶこと (5)(1)35.5%
 - ・“Was Saki’s seat 8C?” という質問に、“No, it wasn’t.” と書いて答えること (8)(1)イ8.1%

- 前後の英文から意味のつながりを考えて、適切に英語でやりとりすることに課題が見られる。
 - ・新作映画を話題にした対話を完成させるために、英語版か日本語版のどちらで観るかを英語で書くこと (7)(3)18.3%
 - ・“My mother was happy to hear that.” という表現の根拠となる登場人物のセリフを、本文の内容から判断して英文で書くこと (8)(2)18.7%

- 代名詞が何をさしているかを正確に判断して、英文を読み進めることに課題が見られる。
 - ・ケンジ(Kenji)が何について下線部②のように思ったのか。という質問に日本語で答えること (6)(4)21.7%

- あるトピックについて、自分の考えとその理由を英語で書くことに課題が見られる。
 - ・“_____ is a good season for me.” に具体的な季節を英語で書き、その理由を続けて英語で書くこと (8)(3)ア、イ 36.2%

正答率が80%以上であるものや、過去の調査等と比較して改善の傾向が見られるものを成果としてまとめるとともに、特に課題と見られる状況について、全体の傾向をまとめている。

※ ○は成果、●は課題を示している。

英語【中学校2年生】

- 英語で書かれた情報を読み取り、英語で問われた質問に適切に答えることに課題が見られる。

5 次の掲示の内容を読み、下の質問に対する答えとして最もふさわしいものをア～エの中からそれぞれ1つずつ選び、記号で答えなさい。

City Library

Book Day

Date : Thursday, October 27th, 2016
Place : City Library
Time : 4 p.m. – 6 p.m.

Come and meet *Kate Millar. She *wrote a book about Ichiro Suzuki, a *famous Japanese baseball player.

She will talk about the book and Ichiro's life in America. Her book has nice pictures of Ichiro and his *teammates' *comments.

Please visit our *website and get *information about the *event:
www.bigapple.citylibrary.com

(1) What can people do on October 27th?

- ア Take a picture with Ichiro.
- イ Visit Ichiro's house.
- ウ Write a book about Ichiro.
- エ Learn about Ichiro's life.

【正答】

(1) エ

中2 : (1) 35. 5%

- 前後の英文から意味のつながりを考えて、適切に英語でやりとりすることに課題が見られる。

7 次のそれぞれの対話文の () に合う4語以上の英文1文を書き、会話を完成させなさい。

(3) 陽子 [Yoko] はメアリー [Mary] と昼休みに話しています。

Mary : The *movie *"Night Train" is coming *soon. I'm very *interested in it.

Yoko : Me, too. Let's go and watch it together.

Mary : We can watch the English one and the Japanese one.

Yoko : ().

Mary : Nice! You will learn English *through the movie

【正答】 (例)

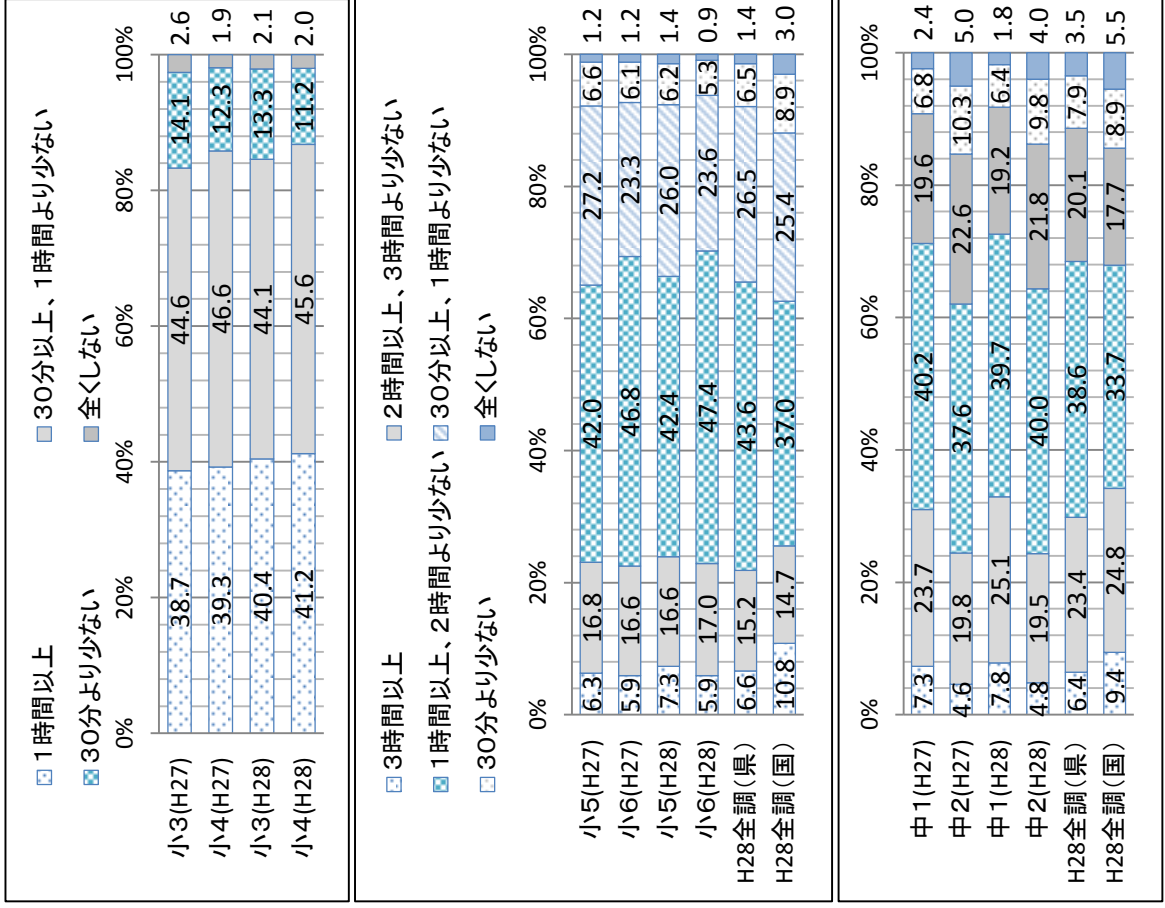
(3) I'll try the English one. / I'll watch the English one.

中2 : (3) 18. 3%

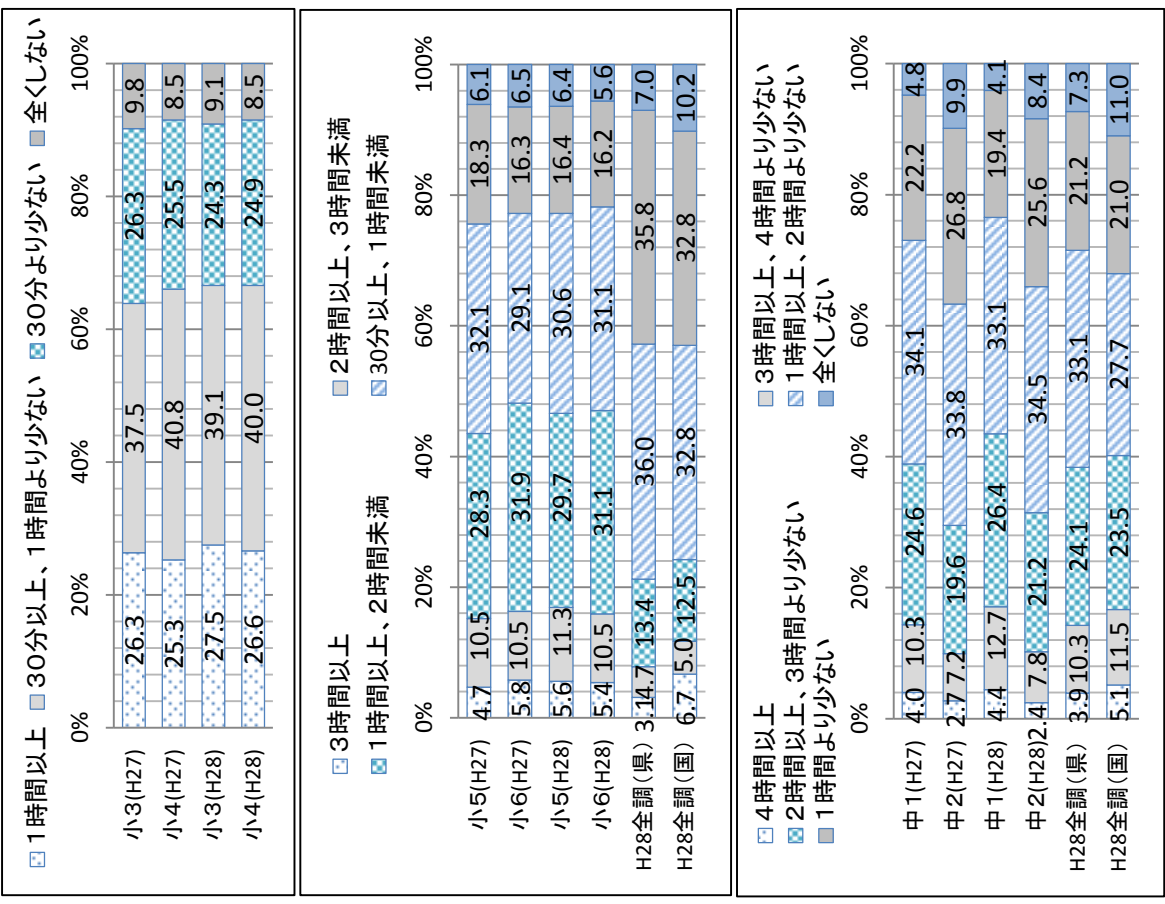
Ⅲ

児童生徒質問紙の結果

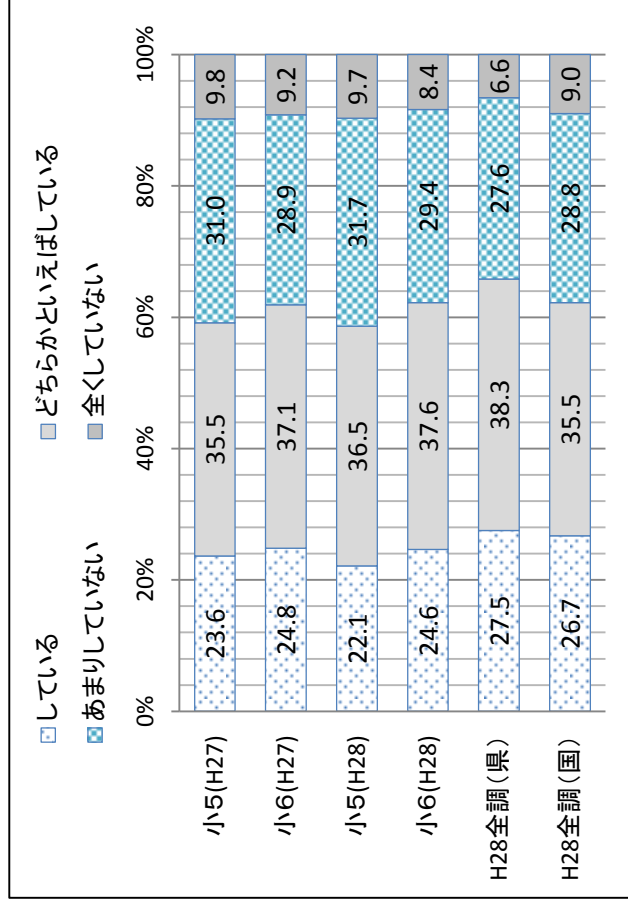
1 学校の授業時間以外に、ふだん、1日当たりどれくらいの時間勉強をしますか。



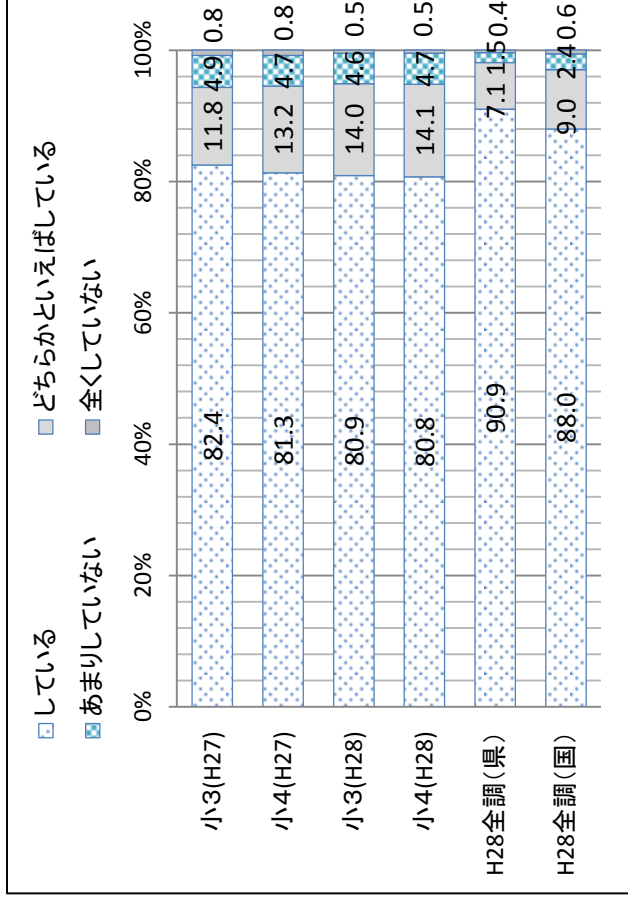
2 学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間勉強をしますか。



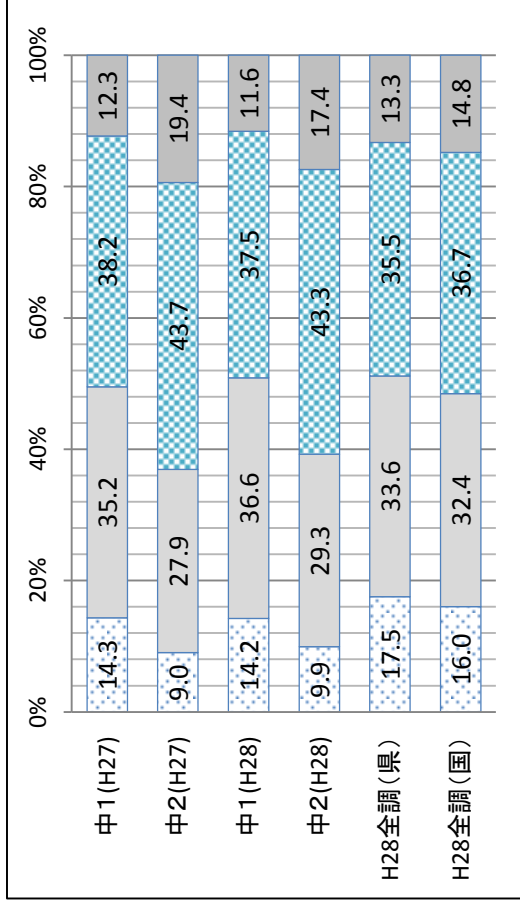
3 家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか。



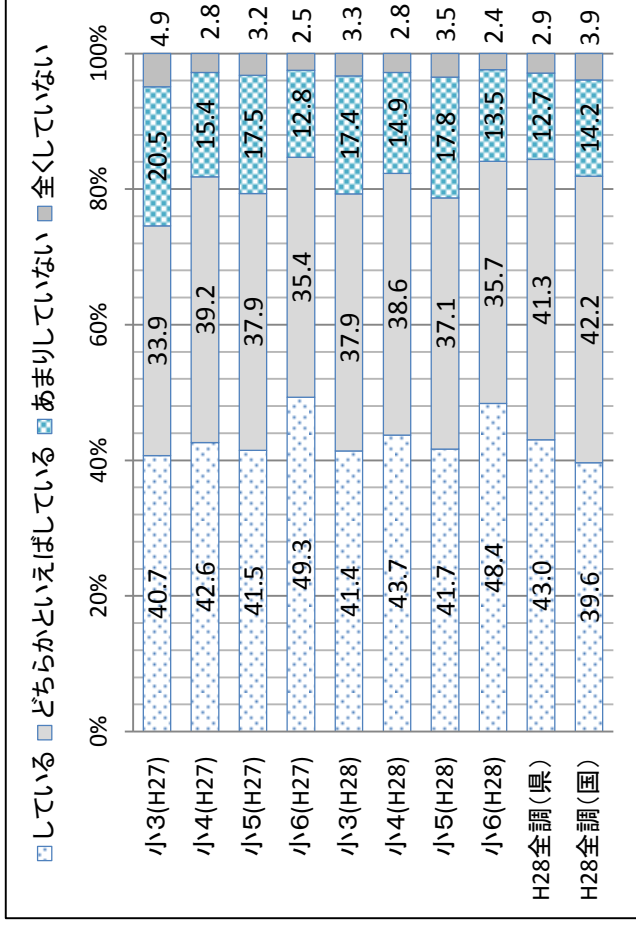
4 学校の宿題をしていますか。



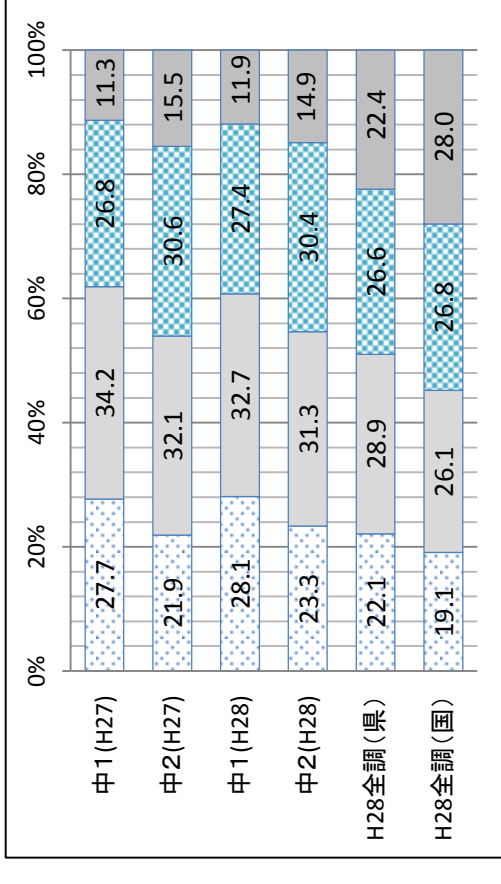
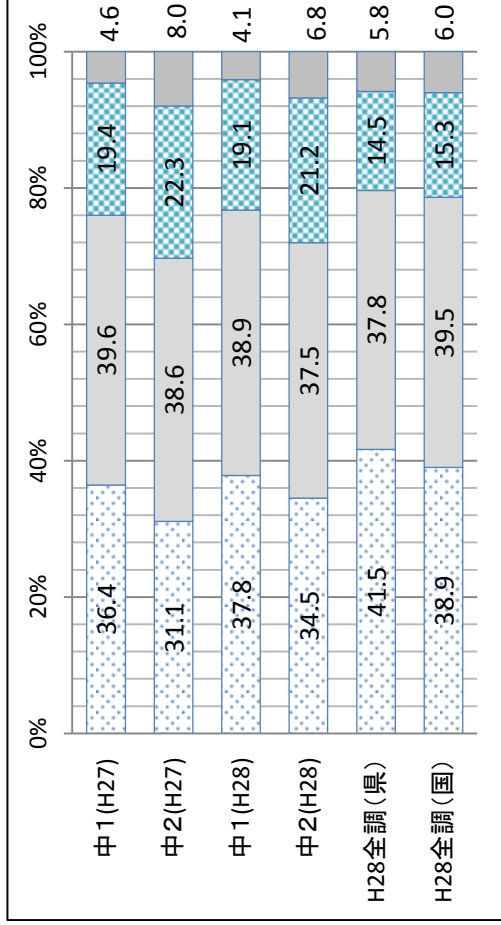
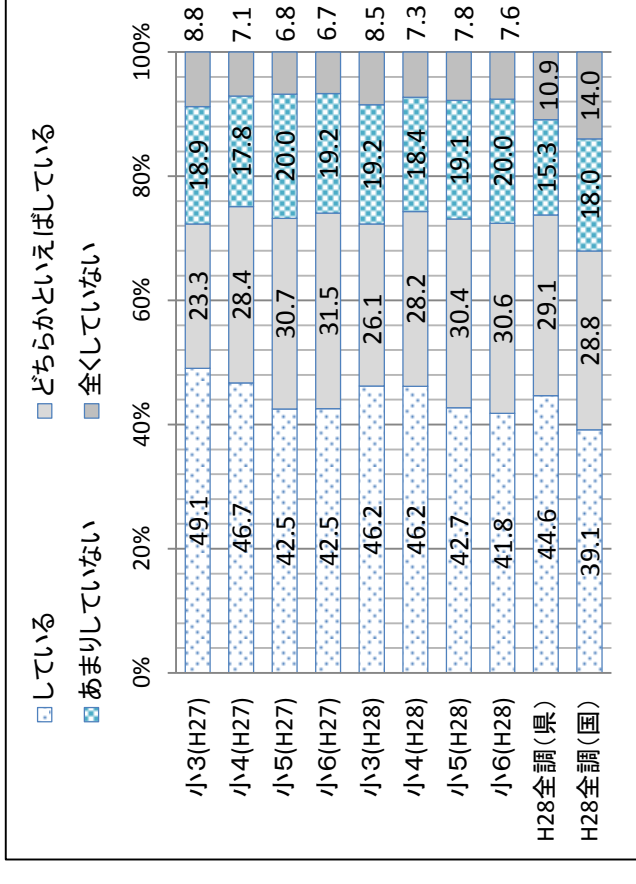
5 家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか。



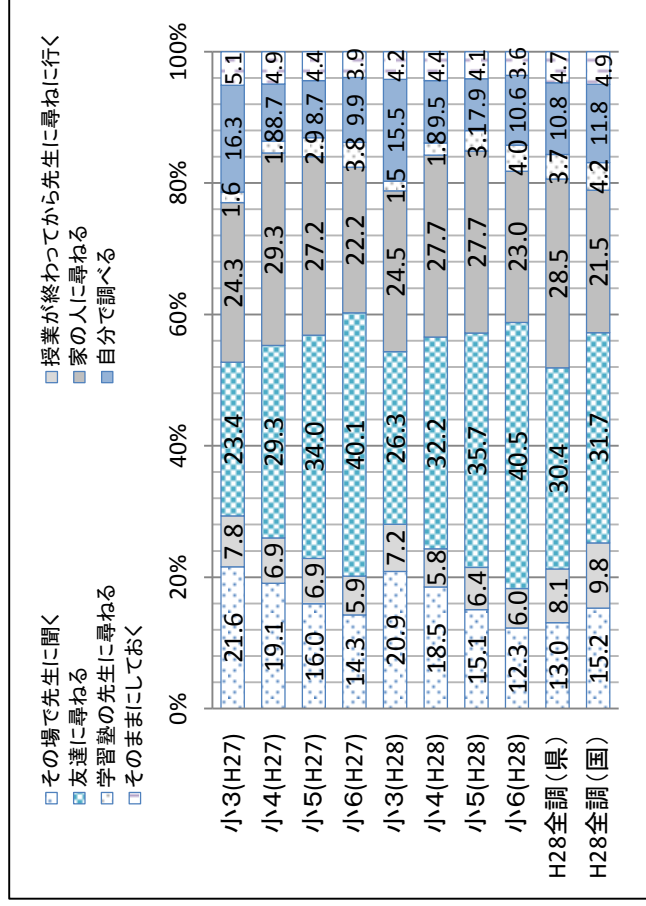
5 あなたの学級では、学級会などの時間に友達同士で話し合って学級の決まりなどを決めていると思いますか。



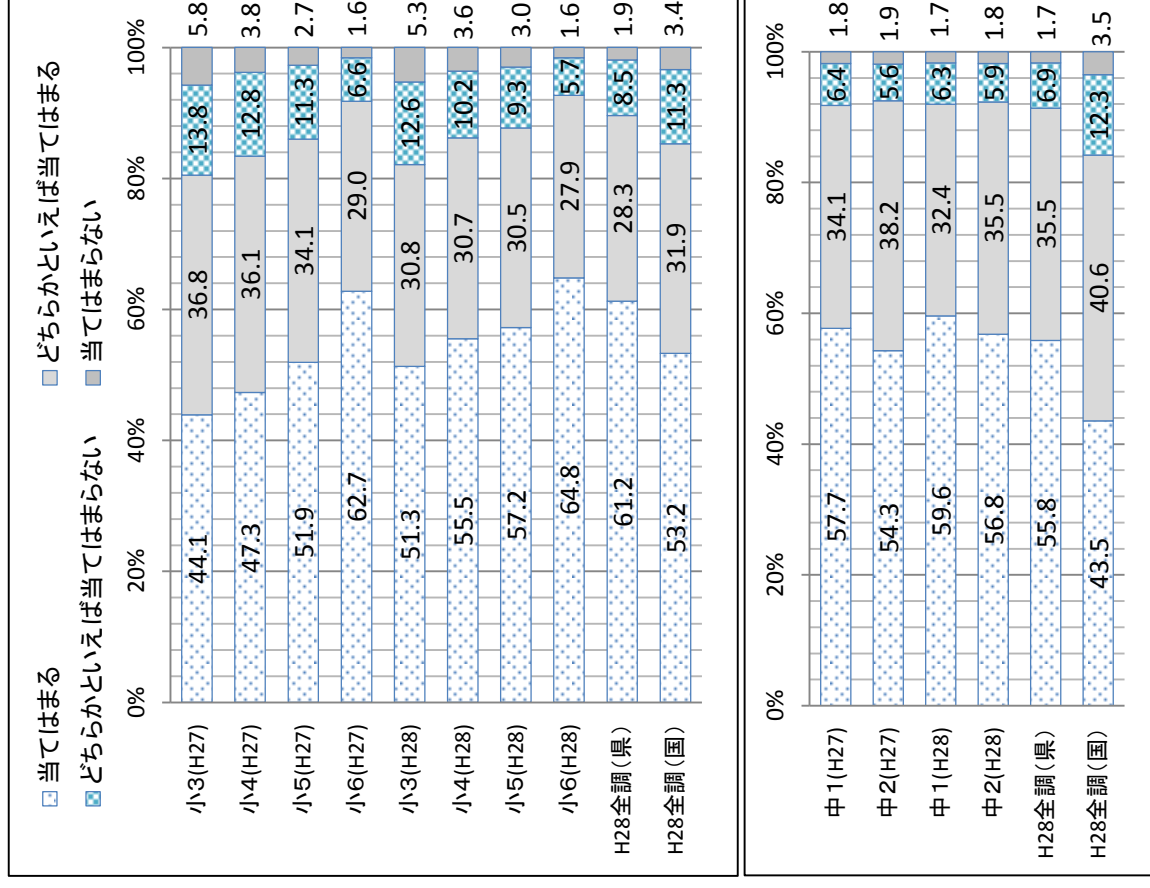
6 今住んでいる地域の行事に参加していますか。



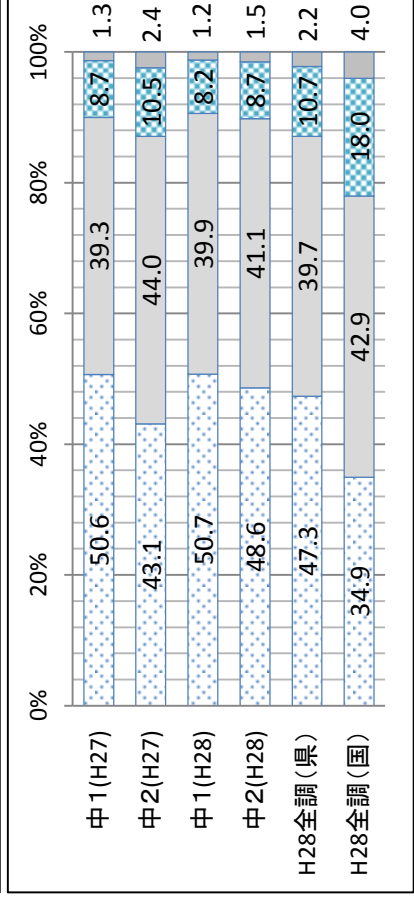
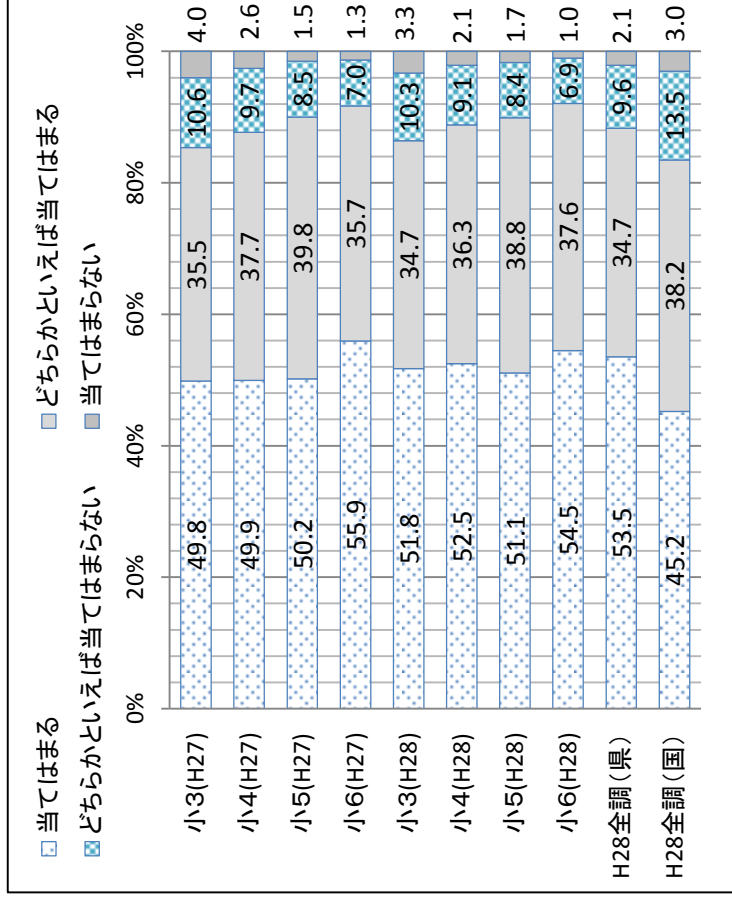
7 授業の中で分からないことがあったら、どうすることが多いですか。



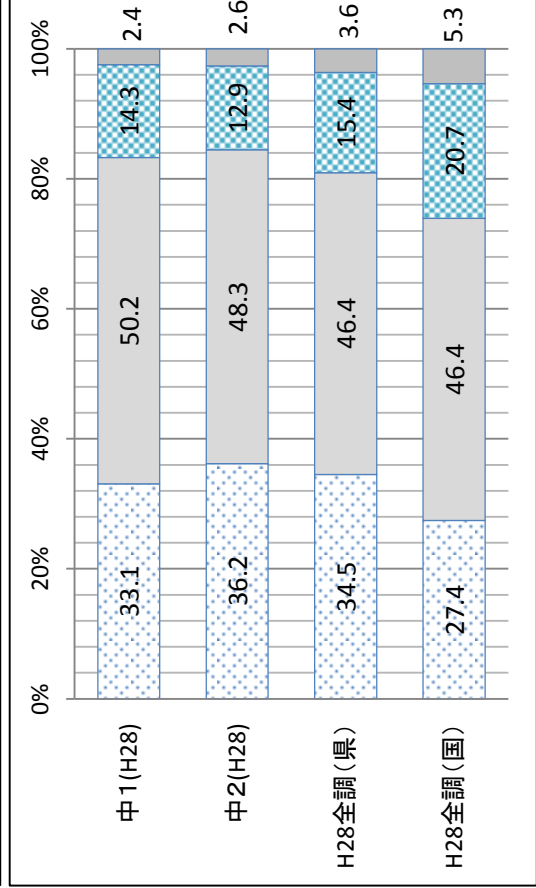
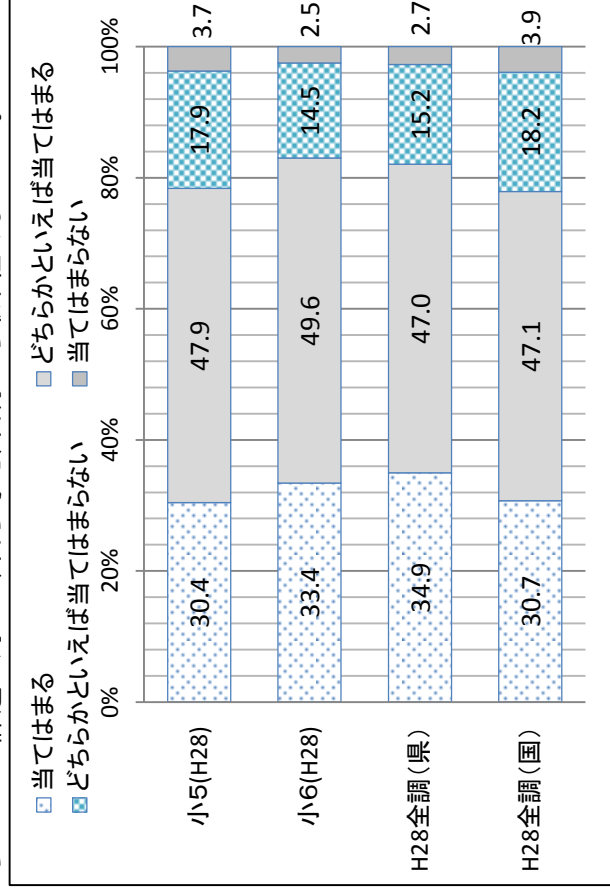
8 普段の授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていると思いますか。



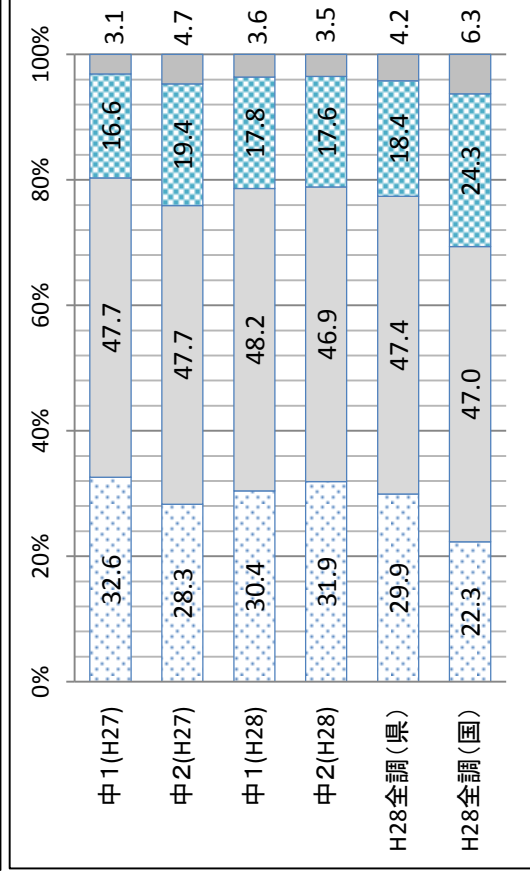
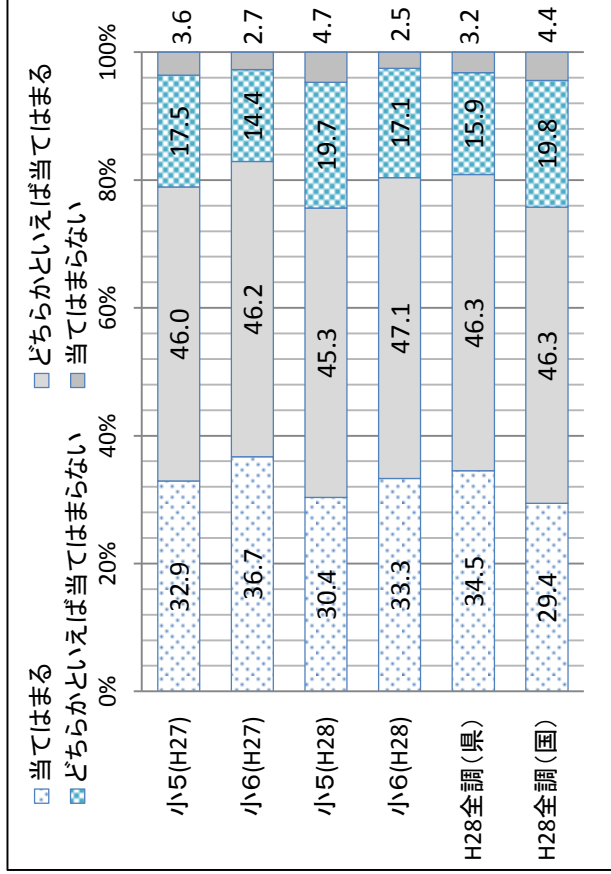
9 普段の授業では、話し合う活動をよく行っていると思いますか。



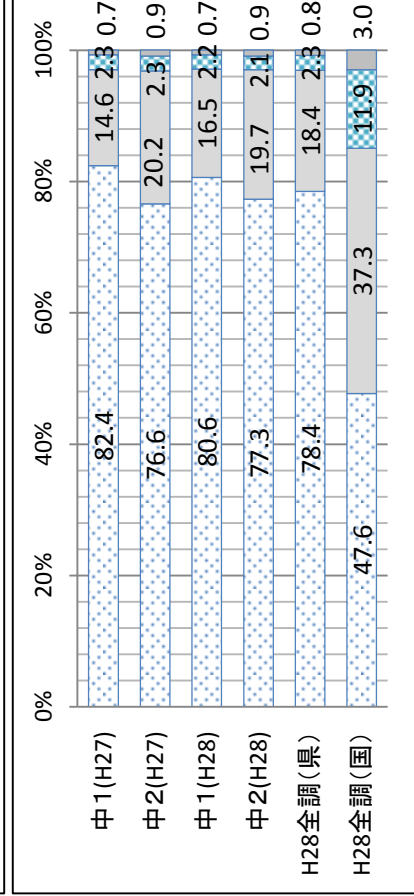
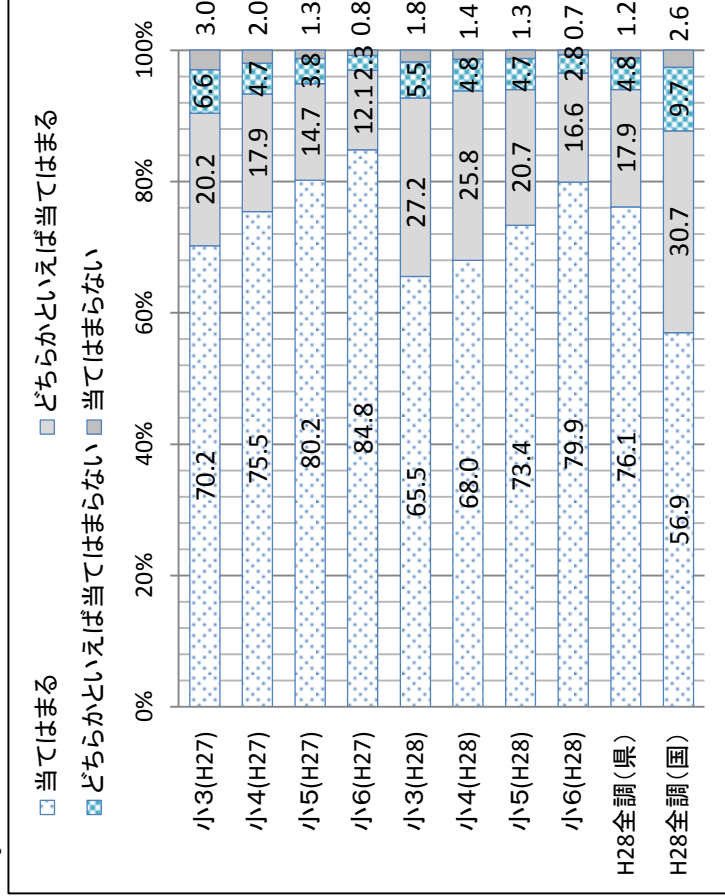
10 授業では、先生から示される課題や、学級やグループの中で、自分たちで立てた課題に対して、自ら考え、自分から取り組みましたか。



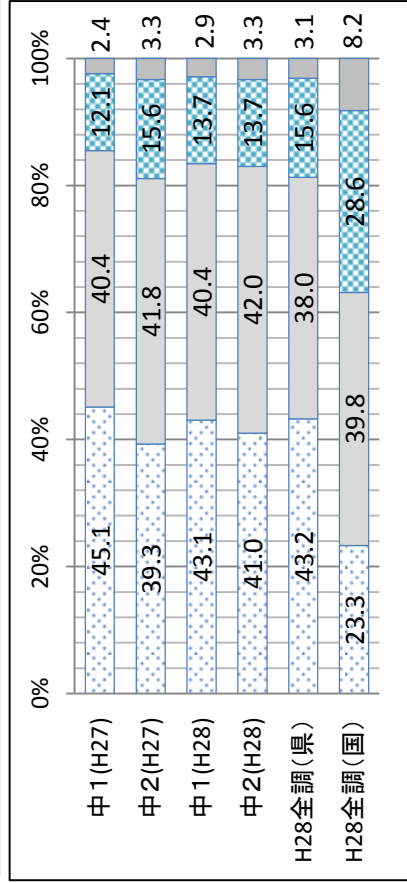
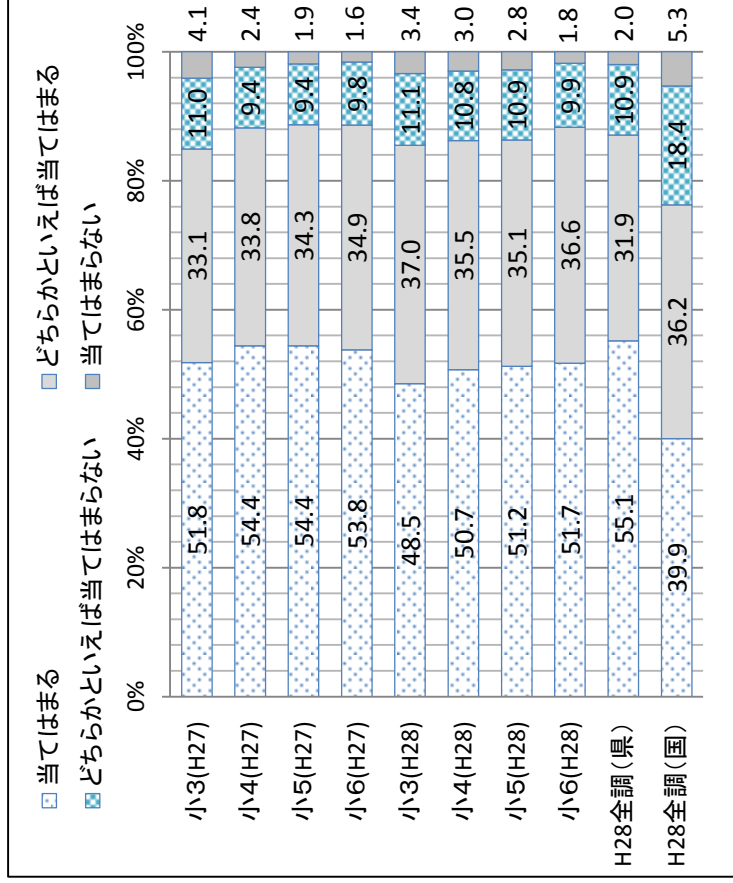
11 授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立ててその解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して発表するなどの学習活動に取り組みましたか。



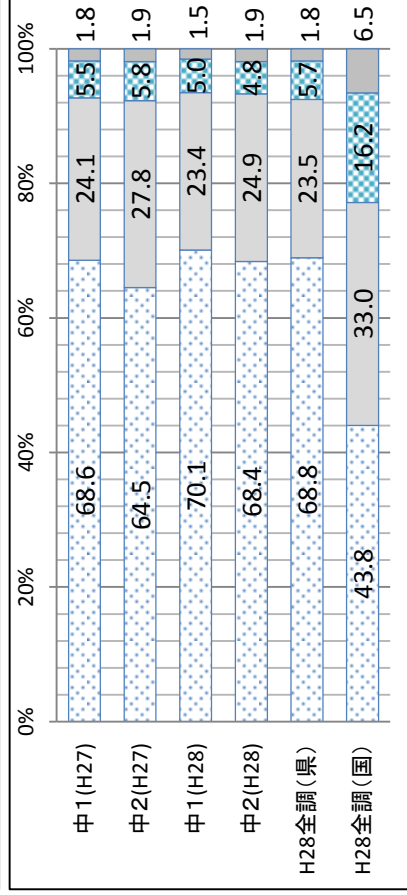
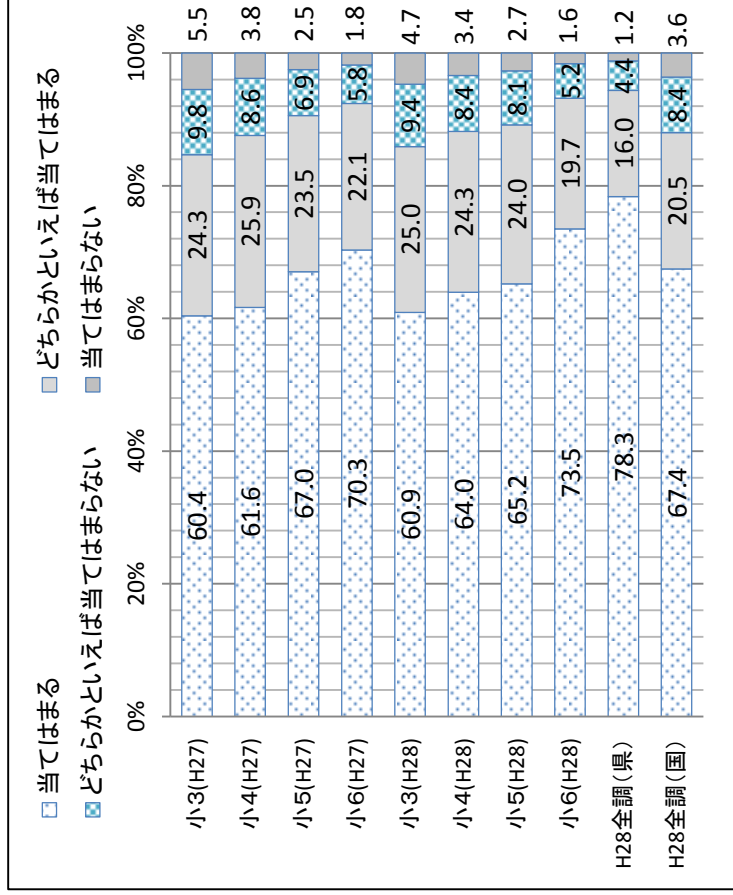
12 授業の中で、授業の目標(めあて・ねらい)が示されていると思いますか。



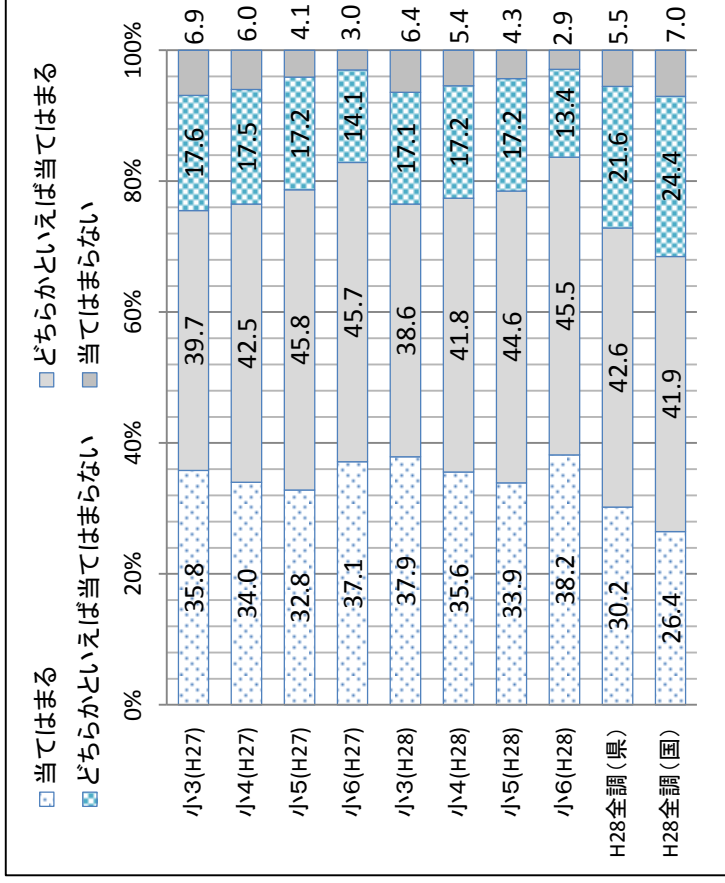
13 授業の最後に、学習内容を振り返る活動をよく行っていると思いますか。



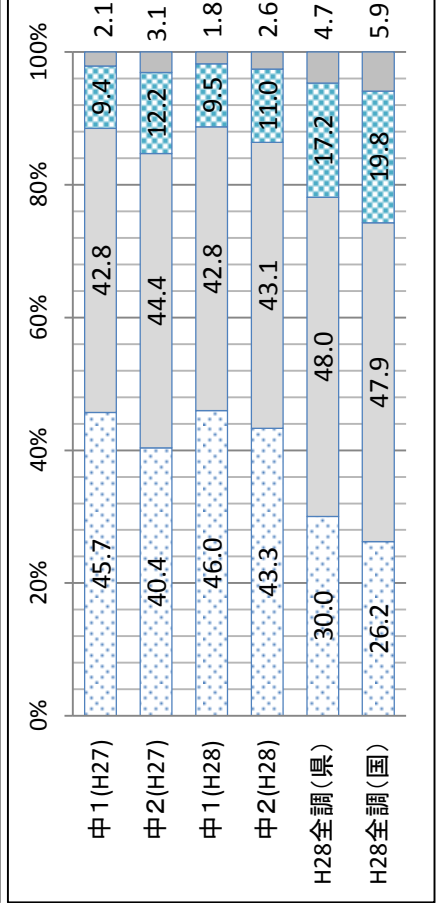
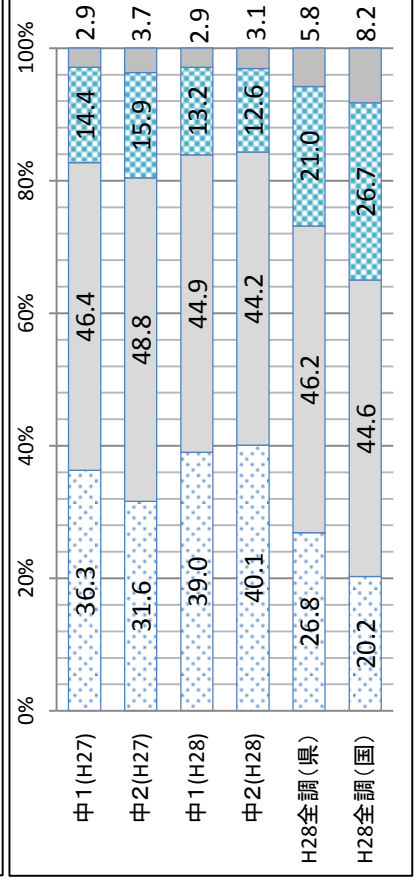
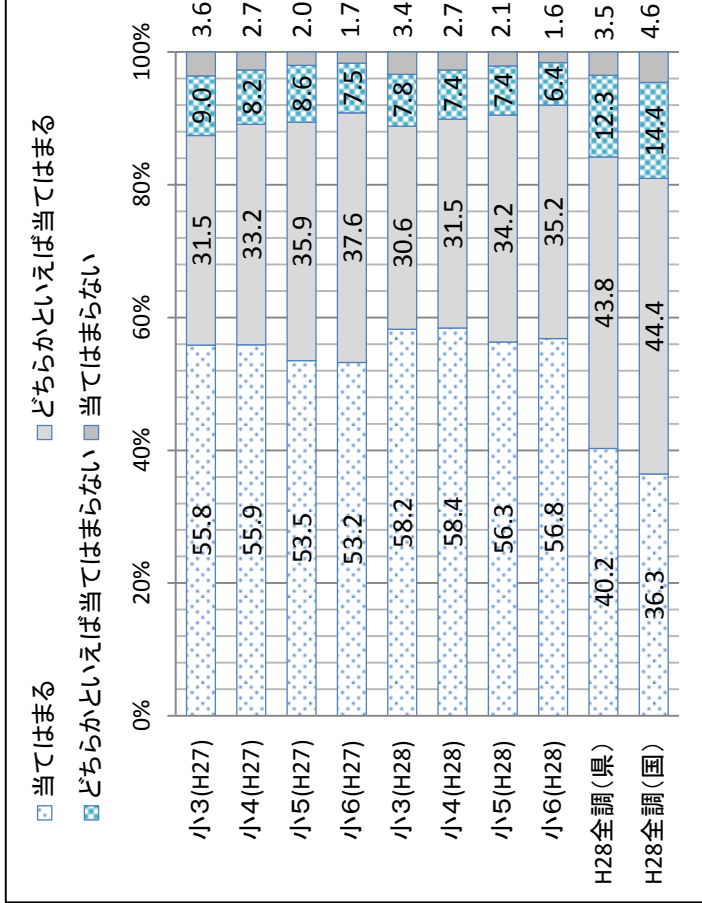
14 授業のノートや学習プリントに、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書いていきますか。



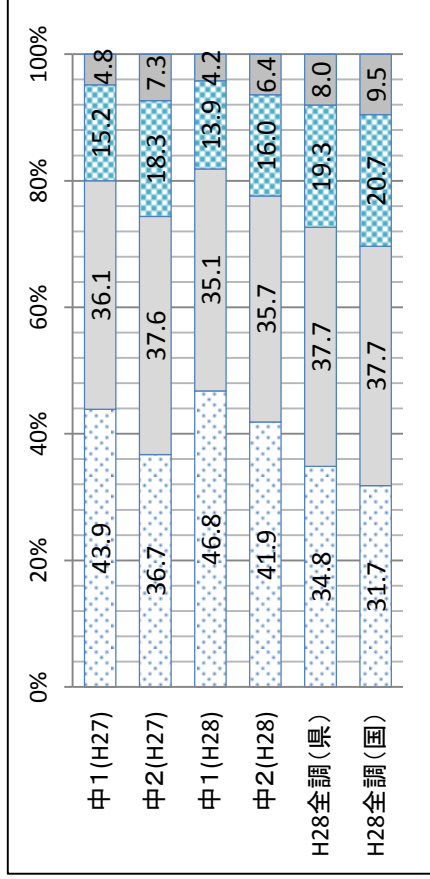
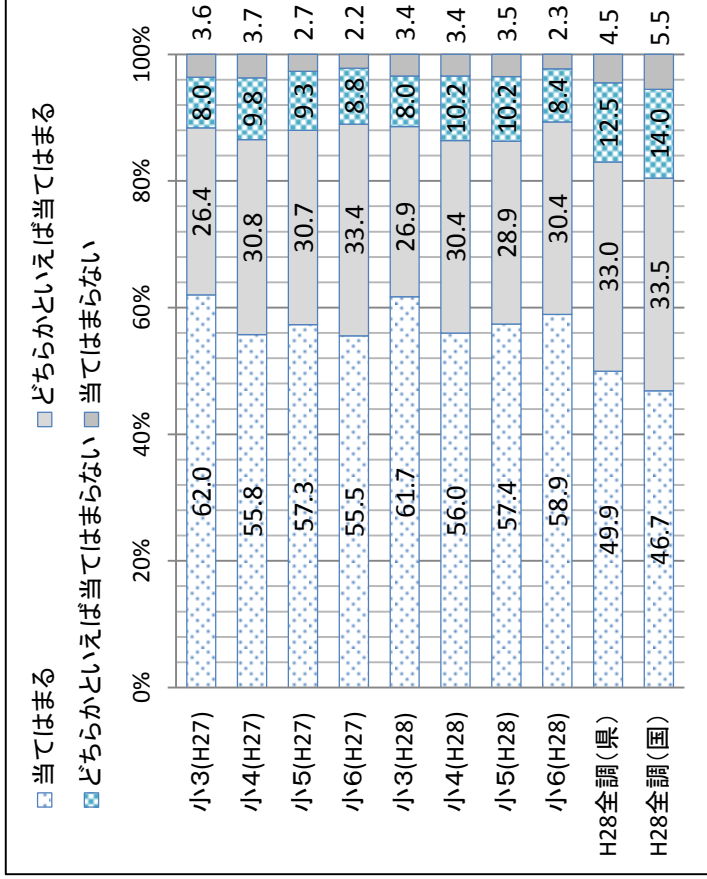
15 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか。



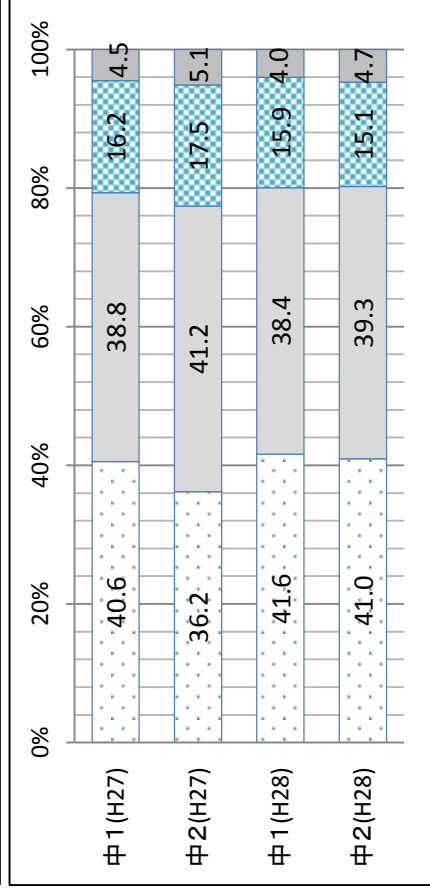
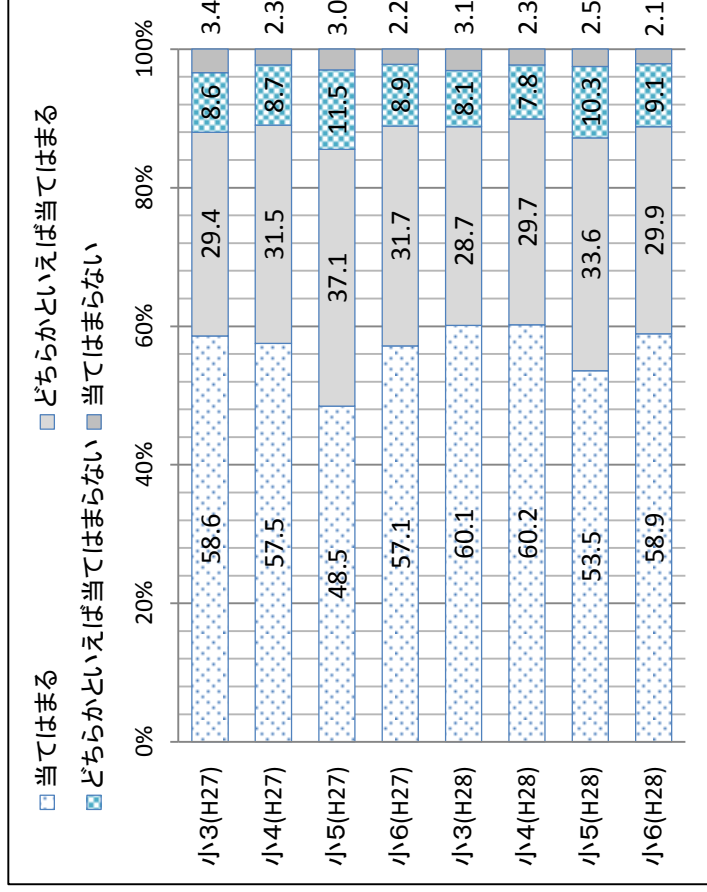
16 国語の授業の内容はよく分かりますか。



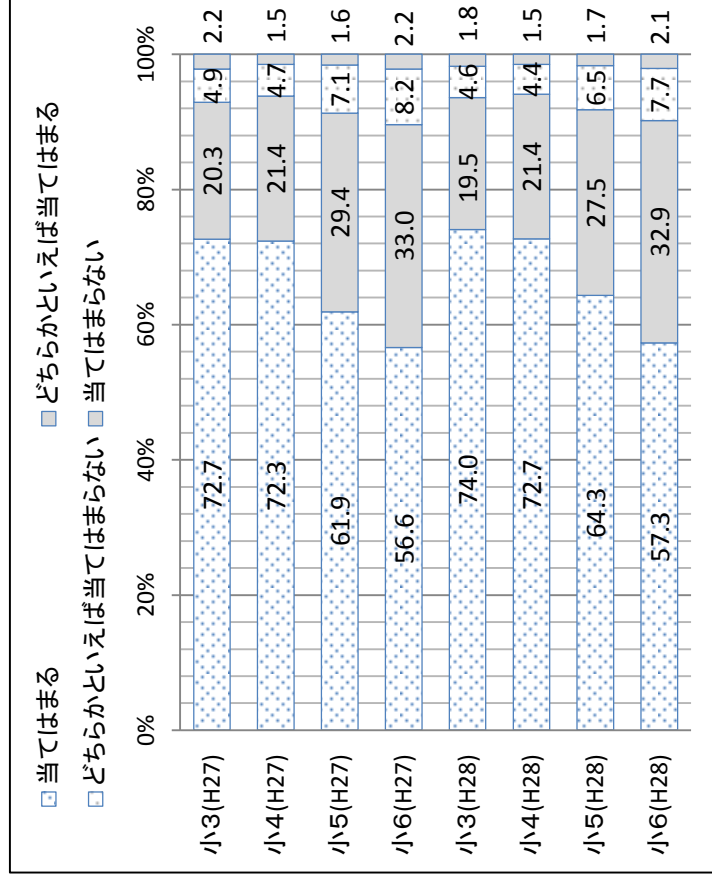
17 算数・数学の授業の内容はよく分かりますか。



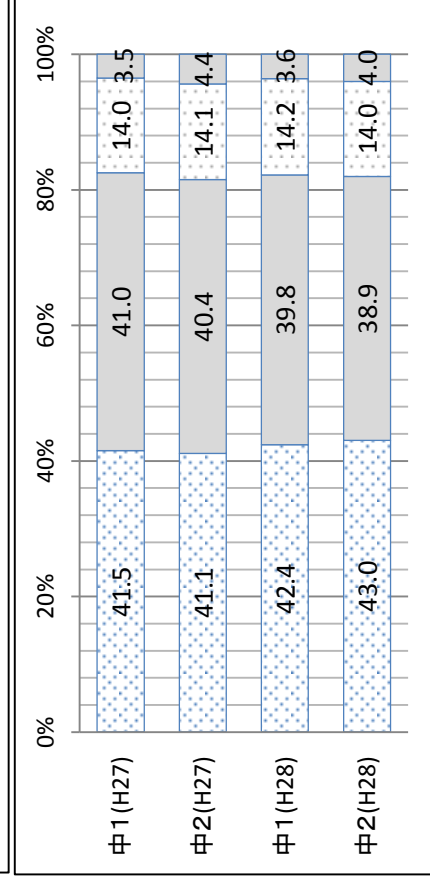
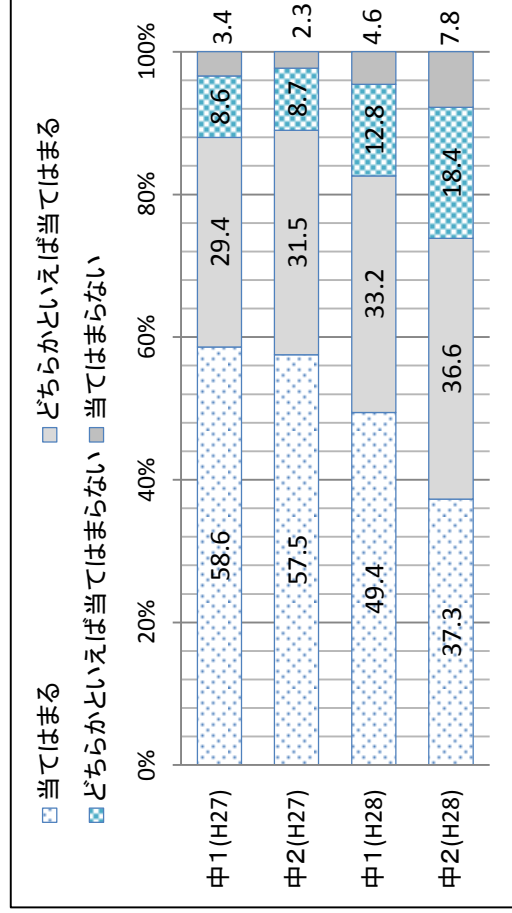
18 社会の授業の内容はよく分かりますか。



19 理科の授業の内容はよく分かりますか。



20 英語の授業の内容はよく分かりますか。



IV 資料

設問別正答数一覧

IV 資料：設問別正答率一覧

平成28年度 学力定着状況確認問題 出題の趣旨一覧表
 小学校第3学年 国語

分類・区分別設問数

分類	区分	対象設問数（問）	県全体正答率（％）
問題	主として「知識」に関する問題	17	73.5
	主として「活用」に関する問題	3	56.7
学習指導要領の領域	話すこと・聞くこと	3	78.1
	書くこと	2	43.9
	読むこと	6	70.1
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	10	74.0
評価の観点	話す・聞く能力	3	78.1
	書く能力	2	43.9
	読む能力	6	70.1
	言語についての知識・理解・技能	9	75.3
問題形式	選択式	7	66.5
	短答式	11	78.8
	記述式	2	43.9

設問番号	出題の趣旨	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	学習指導要領の領域				評価の観点				問題形式			県全体正答率（％）
				話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式	
1	一	①	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読む	○			○				○		○		92.8
1	一	②	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読む	○			○				○		○		89.0
1	一	③	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書く	○			○				○		○		80.3
1	一	④	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書く	○			○				○		○		78.5
1	二	⑤	文の中における主語、述語を捉える	○			○				○	○			52.5
1	三	⑥	国語辞典の正しい使い方を理解する	○			○				○		○		80.9
1	四	⑦	国語辞典の正しい使い方を理解する	○			○				○		○		69.0
1	五	⑧	指定された箇所正しい筆順を示す	○			○				○		○		59.1
2	一	⑨	司会の役割を理解する	○	○			○					○		94.8
2	二	⑩	前後の文脈から、適切な接続語を選択する	○	○		○	○				○			62.1
2	三	⑪	話し方の工夫を捉える	○	○			○				○			77.5
2	四	⑫	目的や相手に応じ、説明を書く		○	○			○					○	19.4
3	一	⑬	目的に応じ、中心となる語や文を捉える	○			○				○		○		95.5
3	二	⑭	指示代名詞（ことと言葉）を適切に使う	○			○				○	○			75.4
3	三	⑮	目的に応じ、語や文を捉える	○			○				○		○		61.7
3	四	⑯	文のつながりに気を付けて、文章の内容を捉える	○			○				○	○			75.7
4	一	⑰	文章と図（地図）を関係付けて読む		○		○				○	○			82.3
4	二	⑱	メモと作文を関係付けて読み、作文の構成（段落）を捉える	○			○				○		○		65.1
4	三	⑲	作文の内容を捉え、その効果について考える	○			○				○	○			40.3
4	四	⑳	目的や意図に応じ、複数の内容を関係付けながら紹介文を書く	○	○				○					○	68.4

小学校第4学年 国語

分類・区分別設問数

分類	区分	対象設問数(問)	県全体正答率(%)
問題	主として「知識」に関する問題	15	69.1
	主として「活用」に関する問題	5	53.0
学習指導要領の領域	話すこと・聞くこと	3	50.9
	書くこと	5	61.3
	読むこと	4	56.6
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	10	71.1
評価の観点	話す・聞く能力	3	50.9
	書く能力	5	61.3
	読む能力	4	56.6
	言語についての知識・理解・技能	8	77.1
問題形式	選択式	8	59.7
	短答式	9	77.5
	記述式	3	42.3

設問番号	出題の趣旨	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	学習指導要領の領域				評価の観点			問題形式			県全体正答率(%)
				話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	
1	① 学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読む	○					○			○				79.8
1	② 学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読む	○					○			○				97.0
1	③ 学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書く	○					○			○				69.9
1	④ 学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書く	○					○			○				85.5
1	⑤ 文の中における主語、述語を捉える	○					○		○					53.2
1	⑥ 漢字の部首を理解する	○					○			○				73.3
1	⑦ 漢字の総画を理解する	○					○			○				93.2
1	⑧ ローマ字を正しく読む	○					○			○				64.6
2	⑨ 聞いたことの要点をメモする	○		○				○				○		45.9
2	⑩ メモの書き方を工夫する	○		○				○				○		59.5
2	⑪ 聞いた事柄を基に分からない点を質問する		○	○				○					○	47.2
3	⑫ 接続詞の意味と用法について理解する	○				○			○		○			42.1
3	⑬ 接続詞の意味と用法について理解する	○				○			○		○			52.1
3	⑭ 目的に応じ、中心となる語や文を捉える	○				○			○		○			53.0
3	⑮ 目的に応じ、中心となる語や文を捉える	○				○			○		○			79.1
4	⑯ 目的に応じて、必要な事柄を調べる		○			○			○			○		71.9
4	⑰ 目的に応じて、必要な事柄を調べる	○				○			○			○		88.6
4	⑱ 書き手の意図を捉え、意見を述べる		○					○					○	56.0
4	⑲ よりよい表現に書き直す		○					○				○		66.3
4	⑳ 文章を敬体にして、自分の考えを明確に書く		○					○					○	23.6

小学校第5学年 国語

分類・区別設問数

分類	区分	対象設問数(問)	県全体正答率(%)
問題	主として「知識」に関する問題	15	69.0
	主として「活用」に関する問題	5	49.6
学習指導要領の領域	話すこと・聞くこと	3	71.5
	書くこと	3	50.1
	読むこと	5	52.8
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	9	72.7
評価の観点	話す・聞く能力	3	71.5
	書く能力	3	50.1
	読む能力	5	52.8
	言語についての知識・理解・技能	9	72.7
問題形式	選択式	9	63.8
	短答式	8	71.4
	記述式	3	45.7

設問別集計結果

設問番号	出題の趣旨	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	学習指導要領の領域				評価の観点			問題形式			県全体正答率(%)
				話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	
1	一	1)	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読む	○			○			○		○		95.3
1	一	2)	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読む	○			○			○		○		82.1
1	一	3)	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書く	○			○			○		○		78.5
1	一	4)	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書く	○			○			○		○		72.8
1	二	5)	文の中における主語と述語を捉える	○			○			○	○			45.9
1	三	6)	ローマ字を正しく書く	○			○			○		○		62.8
1	四	7)	国語辞典の正しい使い方を理解する	○			○			○	○			88.2
1	五	8)	文字の配列や大きさに注意して毛筆で書く	○			○			○		○		54.0
2	一	9)	話し合い方を工夫する	○	○			○			○			80.7
2	二	10)	話し合いにおける司会の役割を理解する	○	○			○			○			70.6
2	三	11)	話し合いの流れを踏まえて意見を言う		○	○		○					○	63.2
3	一	12)	国語辞典の正しい使い方を理解する	○			○			○		○		74.4
3	二	13)	段落の内容を的確に捉える	○			○			○		○		52.1
3	三	14)	文章の内容を的確に押さえて要旨を捉える	○			○			○		○		56.1
4	一	15)	グラフを基に、分かったことを的確に書く	○			○			○		○		57.6
4	二	16)	表を基に、分かったことを的確に書く	○			○			○		○		63.5
4	三	17)	目的や意図に応じて、表を基に、自分の考えを書く		○	○		○					○	29.2
5	一	18)	話し合いと推薦文を関連付けて読む	○			○			○		○		51.5
5	二	19)	新聞の割り付けから、必要な情報を読み取る	○			○			○		○		59.3
5	三	20)	推薦文を読んで、自分の考えを表現する		○	○		○					○	44.8

小学校第6学年 国語

分類・区分別設問数

分類	区分	対象設問数(問)	県全体正答率(%)
問題	主として「知識」に関する問題	17	68.8
	主として「活用」に関する問題	3	57.2
学習指導要領の領域	話すこと・聞くこと	3	67.4
	書くこと	2	66.8
	読むこと	7	57.5
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	8	75.4
評価の観点	話す・聞く能力	3	67.3
	書く能力	2	66.7
	読む能力	7	57.5
	言語についての知識・理解・技能	8	75.4
問題形式	選択式	7	64.0
	短答式	10	72.1
	記述式	3	57.1

設問別集計結果

設問番号	出題の趣旨	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	学習指導要領の領域				評価の観点			問題形式			県全体正答率(%)
				話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	
1	一	(1)	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読む	○				○			○	○		94.4
1	一	(2)	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読む	○				○			○	○		95.7
1	一	(3)	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書く	○				○			○	○		87.5
1	一	(4)	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書く	○				○			○	○		71.4
1	二	(5)	文の中における主語と述語を捉える	○				○			○			45.1
1	三	(6)	ローマ字を正しく書く	○				○			○	○		73.6
1	四	(7)	主語と述語の関係に気を付けて、一文を二文に分ける	○				○			○	○		50.1
1	五	(8)	漢字辞典の正しい使い方を理解する	○				○			○	○		85.3
2	一	(9)	目的に応じて、質問したいことを整理することができる	○	○			○			○			75.2
2	二	(10)	質問の意図を捉えることができる	○	○			○			○			79.3
2	三	(11)	話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って質問することができる		○	○		○					○	47.6
3	一	(12)	説明に対する主語を本文から見つけることができる	○		○				○		○		83.3
3	一	(13)	目的に応じ、中心となる言葉や文を捉えることができる		○	○				○			○	71.6
3	二	(14)	筆者の主張を捉えることができる	○		○				○		○		27.8
4	一	(15)	グラフを基に、分かったことを的確に書くことができる	○		○				○		○		81.2
4	二	(16)	目的や意図と資料を関連付けて読むことができる	○		○				○		○		73.2
4	三	(17)	グラフや表を基に、自分の考えを書くことができる		○	○				○			○	52.3
5	一	(18)	文章から適切な情報を読み取る	○		○				○		○		64.5
5	二	(19)	文章の、あらすじを捉える	○		○				○		○		44.4
5	三	(20)	文章から適切な情報を読み取る	○		○				○		○		37.6

小学校第3学年 算数

分類・区別別設問数

分類	区分	対象設問数(問)	県全体正答率(%)
問題	主として「知識」に関する問題	15	71.8
	主として「活用」に関する問題	5	52.5
学習指導要領の領域	数と計算	9	73.4
	量と測定	3	62.7
	図形	2	50.9
	数量関係	6	64.8
評価の観点	算数への関心・意欲・態度	0	—
	数学的な考え方	4	51.5
	数量や図形についての技能	8	74.9
	数量や図形についての知識・理解	8	66.7
問題形式	選択式	6	65.3
	短答式	12	70.7
	記述式	2	49.4

設問別集計結果

設問番号	出題の趣旨	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	学習指導要領の領域				評価の観点				問題形式			県全体正答率(%)
				数と計算	量と測定	図形	数量関係	算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての技能	数量や図形についての知識・理解	選択式	短答式	記述式	
1 (1) ①	繰り上がりのある加法の計算をすることができる	○	○					○			○				88.4
1 (2) ②	繰り下がりのある減法の計算をすることができる	○	○					○			○				73.7
1 (3) ③	乗法の計算をすることができる	○	○					○			○				77.4
1 (4) ④	除法の計算をすることができる	○	○					○			○				92.8
2 (1) ⑤	漢数字を数字で表すことができる	○	○							○	○				62.2
2 (2) ⑥	不等号を使って、数の大小関係を表すことができる	○	○							○	○				92.6
2 (3) ⑦	数の構成について理解している	○	○							○	○				74.7
3 (1) ⑧	長さについての感覚を身に付けている	○		○						○	○				68.1
3 (2) ⑨	かさについての感覚を身に付けている	○		○						○	○				60.2
4 (1) ⑩	加法と減法の相互関係を図に表すことができる	○			○					○	○				77.3
4 (2) ⑪	加法と減法の相互関係を理解し、式に表すことができる	○			○					○	○				70.3
5	⑫ 目もりをもとに、数直線上の数を読み取る方法を説明することができる		○	○					○				○		31.1
6	⑬ かけ算のきまりについて理解し、乗法の性質を説明することができる		○	○					○				○		67.6
7	⑭ 等分除や包含除が用いられる場合に合う図を選ぶことができる	○			○					○	○				77.3
8 (1) ⑮	箱を構成する面について理解している	○		○						○	○				57.6
8 (2) ⑯	三角形をもとに、図形の構成を考えることができる	○		○					○		○				44.2
9 (1) ⑰	時間を求めることができる	○		○					○		○				59.9
9 (2) ⑱	問題場面を読み取り、全体の人数を求めることができる		○		○					○	○				56.2
10 (1) ⑲	問題場面に合わせて減法を用いることができる		○		○			○			○				56.0
10 (2) ⑳	乗法と除法の関係を説明することができる		○		○			○			○				51.4

小学校第4学年 算数

分類・区別設問数

分類	区分	対象設問数(問)	県全体正答率(%)
問題	主として「知識」に関する問題	15	71.0
	主として「活用」に関する問題	5	53.0
学習指導要領の領域	数と計算	11	73.5
	量と測定	3	59.4
	図形	2	54.0
	数量関係	4	58.6
評価の観点	算数への関心・意欲・態度	0	—
	数学的な考え方	5	53.0
	数量や図形についての技能	9	75.1
	数量や図形についての知識・理解	6	64.7
問題形式	選択式	5	62.2
	短答式	13	73.0
	記述式	2	35.1

設問別集計結果

設問番号	出題の趣旨	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	学習指導要領の領域				評価の観点			問題形式			県全体正答率(%)
				数と計算	量と測定	図形	数量関係	算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての技能	数量や図形についての知識・理解	選択式	短答式	
1 (1) ①	繰り上がりのある加法の計算をすることができる	○	○					○			○			93.6
1 (2) ②	小数の減法の計算をすることができる	○	○					○			○			79.6
1 (3) ③	3位数×2位数の乗法の計算をすることができる	○	○					○			○			66.7
1 (4) ④	億、万単位の乗法の計算をすることができる	○	○					○			○			57.4
1 (5) ⑤	余りのある除法の計算をすることができる	○	○					○			○			86.7
1 (6) ⑥	3位数÷1位数の計算をすることができる	○	○					○			○			67.1
2 (1) ⑦	小数を含んだ数量を表すことができる	○	○							○	○			64.7
2 (2) ⑧	かさの量感を身に付けている	○		○						○	○			68.3
3 (1) ⑨	分数や小数を含む数の大小関係を理解している	○	○							○	○			73.2
3 (2) ⑩	数の構成について理解している	○	○							○	○			74.2
3 (3) ⑪	数直線上の目盛りの数値を正しく読むことができる	○	○							○	○			79.5
4	⑫ 問題場面を正確に読み取り、乗法の意味を正しく表す図を選択することができる		○			○		○			○			46.8
5	⑬ 問題場面を正確に読み取り、除法の式を立てて答えを求めることができる		○			○		○			○			81.8
6	⑭ 垂直の位置関係にある2直線を理解している	○			○					○	○			56.4
7	⑮ 四角形の性質を理解している	○			○					○	○			51.5
8	⑯ 180度をこえる角の大きさを計算して求めることができる	○		○						○	○			64.0
9	⑰ 必要な情報を整理して問題を解決することができる		○	○				○			○			66.3
10 (1) ⑱	グラフの目盛りを正しく読むことができる	○			○					○	○			81.5
10 (2) ⑲	グラフを見比べて変化の様子を読み取り、それを根拠に示された事柄が正しくない理由を説明することができる		○		○			○				○		24.4
11	⑲ 1回転した大きさを等分してできる角度について、式や言葉を用いて説明することができる		○	○				○				○		45.8

小学校 第5学年 算数

分類・区分別設問数

分類	区分	対象設問数(問)	県全体正答率(%)
問題	主として「知識」に関する問題	14	55.9
	主として「活用」に関する問題	6	46.8
学習指導要領の領域	数と計算	10	56.8
	量と測定	3	47.6
	図形	3	58.0
	数量関係	4	44.7
評価の観点	算数への関心・意欲・態度	0	
	数学的な考え方	6	43.1
	数量や図形についての技能	9	63.1
	数量や図形についての知識・理解	5	47.4
問題形式	選択式	6	50.9
	短答式	11	62.4
	記述式	3	24.1

設問別集計結果

設問番号	出題の趣旨	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	学習指導要領の領域				評価の観点				問題形式			県全体正答率(%)
				数と計算	量と測定	図形	数量関係	算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての技能	数量や図形についての知識・理解	選択式	短答式	記述式	
1 (1)	(1) 検算の仕方について理解している	○	○					○				○			69.4
1 (2)	(2) 被除数と除数に同じ数をかけても商が同じことを理解している	○	○								○	○			15.5
1 (3)	(3) 1より小さい小数でわると、商が被除数より大きくなることを理解している	○	○								○	○			70.1
1 (4)	(4) 小数の乗法について、10倍したときの小数点の位置の移動について理解している	○	○					○				○			57.8
1 (5)	(5) 単位をそろえて直方体の体積を求めることができる	○		○				○				○			20.2
2 (1)	(6) 小数の減法の計算をすることができる	○	○					○				○			74.5
2 (2)	(7) 四則計算や()を用いた式を、正しく計算することができる	○			○			○				○			64.3
2 (3)	(8) 小数÷整数の計算ができる	○	○					○				○			55.4
2 (4)	(9) 同分母の分数の減法ができる	○	○					○				○			87.1
3 (1)	(10) 2種類の三角定規を重ねてできる角の大きさを理解している	○		○								○			61.9
3 (2)	(11) 三角形の内角の和が180°であることを使って、三角形の1つの角の外角の大きさを計算で求めることができる	○			○							○	○		59.3
3 (3)	(12) 合同な三角形のかき方について、正しいものを選択することができる	○			○							○	○		30.5
4	(13) 条件をもとに正方形や長方形の面積を求め、大きさを比べることができる		○	○				○					○		60.7
5 (1)	(14) 2つの数量の関係を図と関連付けて考えることができる	○	○					○				○			41.4
5 (2)	(15) 1に当たる大きさを基に、比較量を求めることができる	○	○								○		○		75.7
6	(16) 立方体の面の位置関係を基に、展開図における面の位置関係を考えることができる		○		○			○				○			84.2
7	(17) グラフを見比べて変化の様子を読み取り、それを根拠に、示された事柄が正しくない理由を説明することができる		○		○			○						○	27.8
8	(18) 平行四辺形を12枚しきつめたとき、一番小さいひし形ができる理由を記述できる		○	○				○						○	21.5
9 (1)	(19) 言葉の式に数値を当てはめて値を求め、実際の記録と比較し、正しいものを選択することができる		○		○			○				○			63.5
9 (2)	(20) 式の形に着目して計算結果の大小を判断し、計算せずに大小を比較できる理由を記述することができる		○		○			○						○	23.0

小学校第6学年 算数

分類・区別設問数

分類	区分	対象設問数(問)	県全体正答率(%)
問題	主として「知識」に関する問題	13	68.3
	主として「活用」に関する問題	7	57.0
学習指導要領の領域	数と計算	11	60.6
	量と測定	3	56.6
	図形	3	82.8
	数量関係	3	67.4
	算数への関心・意欲・態度	0	—
評価の観点	数学的な考え方	7	54.3
	数量や図形についての技能	10	72.3
	数量や図形についての知識・理解	3	61.4
	算数への関心・意欲・態度	0	—
問題形式	選択式	4	66.5
	短答式	13	67.3
	記述式	3	48.8

設問別集計結果

設問番号	出題の趣旨	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	学習指導要領の領域				評価の観点			問題形式			県全体正答率(%)
				数と計算	量と測定	図形	数量関係	算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての技能	数量や図形についての知識・理解	選択式	短答式	
1	(1)	(1) 小数の減法の計算をすることができる	○	○					○			○		89.4
1	(2)	(2) 小数の乗法の計算をすることができる	○	○					○			○		72.6
1	(3)	(3) 異分母分数の減法の計算をすることができる	○	○					○			○		77.0
1	(4)	(4) 億×万の乗法の計算をすることができる	○	○					○			○		71.6
1	(5)	(5) 除数が小数の計算を行い、小数第1位までの概数で表すことができる	○	○					○			○		51.5
1	(6)	(6) 乗数が整数である場合の分数の乗法を計算し、約分することができる	○	○					○			○		87.9
2	(7)	(7) 分数の商が、被除数より大きくなるように除数をつくることができる	○	○						○		○		38.3
3	(8)	(8) 乗法の分配法則を活用して計算をすることができる	○	○			○		○			○		69.2
4	(9)	(9) 必要な情報を読み取って、台形の面積を求めることができる	○	○		○			○			○		74.1
5	(10)	(10) 点対称な図形をかくことができる	○	○		○			○			○		86.1
6	(11)	(11) x や y を使った数量の関係を表す式の意味を読み取ることができる	○	○			○			○		○		84.2
7	(12)	(12) 円の面積の公式を活用して、複合図形の面積を求めることができる	○	○		○			○			○		57.3
8	(1)	(13) 2つの数量の関係を図と関連付けて考えることができる	○	○					○			○		42.6
8	(2)	(14) 比較量の大きさから、基準量を求めることができる	○	○					○			○		43.6
9	(15)	(15) 3つの数の最小公倍数を利用して、時刻を求めることができる	○	○					○			○		64.5
10	(16)	(16) 式で求めた単位量あたりの大きさの意味を理解している	○	○		○			○			○		51.0
11	(17)	(17) 立方体の面の位置関係を基に、展開図における面の位置関係を考えることができる	○	○		○			○			○		88.1
12	(18)	(18) 表から2つの数量の関係を読み取り、xとyの関係式に表すことができる	○	○			○		○			○		48.9
13	(19)	(19) 四捨五入をして求めた概数の意味について、言葉や数を使って説明することができる	○	○					○			○		27.6
14	(20)	(20) 平均を求めるときに飛び離れた数値を使わないことを理解している	○	○		○			○			○		61.6

小学校第5学年 社会

分類・区別設問数

分類	区分	対象設問数(問)	県全体正答率(%)
問題	主として「知識」に関する問題	13	59.0
	主として「活用」に関する問題	7	48.9
学習指導要領の領域	身近な地域や市の地形、土地利用、公共施設などの様子	2	61.1
	地域の生産や販売に携わっている人々の働き	3	66.5
	地域の人々の健康な生活や良好な生活環境を守るための諸活動	0	—
	地域の人々の安全を守るための諸活動	2	65.9
	地域の古い道具、文化財や年中行事、地域の発展に尽くした先人の具体的事例	0	—
	県の地形や産業、県内の特色ある地域	4	52.1
	我が国の国土の様子と国民生活との関連	4	50.7
	我が国の農業や水産業(食料生産)の様子と国民生活との関連	5	49.0
評価の観点	社会的事象への関心・意欲・態度	0	—
	社会的な思考・判断・表現	5	52.6
	資料活用の技能	9	54.5
	社会的事象についての知識・理解	6	59.4
問題形式	選択式	8	55.3
	短答式	9	53.6
	記述式	3	61.3

設問別集計結果

設問番号	出題の趣旨	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	学習指導要領の領域						評価の観点				問題形式			県全体正答率(%)
				身近な地域や市の地形、土地利用、公共施設などの様子	地域の生産や販売に携わっている人々の働き	地域の人々の健康な生活や良好な生活環境を守るための諸活動	地域の人々の安全を守るための諸活動	地域の古い道具、文化財や年中行事、地域の発展に尽くした先人の具体的事例	県の地形や産業、県内の特色ある地域	我が国の国土の様子と国民生活との関連	我が国の農業や水産業(食料生産)の様子と国民生活との関連	社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての知識・理解	選択式	
1 (1)	(1) 地図記号を使って、絵地図を書き直すことができる	○	○									○	○				61.6
1 (2)	(2) まちたんげんの様子を表した地図から、正しい内容を読み取ることができる	○	○								○	○					60.6
2 (1)	(3) 会話から、買い物の仕方の特徴を読み取ることができる	○	○								○	○					74.2
2 (2)	(4) 資料から、スーパーマーケットの工夫を読みとることができる	○	○								○		○				51.3
2 (3)	(5) 店員の服装の違いに注目して、それぞれの役割や気を付けていることについて説明することができる		○	○						○						○	73.9
3 (1)	(6) 断面図と地形図を重ねて、情報を読み取ることができる		○								○	○					49.3
3 (2)	(7) 山口県に隣接する県の名前(島根県)を理解している	○										○	○				54.3
4 (1)	(8) 話し合いの様子から、警察署の見学メモに当てはまる語句を読み取ることができる	○				○					○		○				73.1
4 (2)	(9) 交通事故に関する資料の中から適切なものを選び、読み取ることのできる内容をもとに、意見の根拠について説明することができる		○			○				○					○		58.6
5 ア	(10) 地図から、説明に当てはまる市の名前を読み取ることができる	○									○		○				57.9
5 イ	(11) 山口県の市の数を理解している	○										○	○				46.9
6 ア	(12) 日本の西側にある大陸の名前を理解している	○										○	○				86.2
6 イ	(13) 日本とロシアの間にある領土問題を理解している	○										○	○				61.6
7 (1)	(14) 資料をもとに、帯広市と那覇市の気候の違いについて説明した文の空欄に適切な語句を答えることができる		○							○		○					30.3
7 (2)	(15) 上越市の雨温図を選ぶことができる		○								○		○				24.7
8 (1) ①	(16) 表を参考に、条件に合う都道府県を指示通りに示すことができる	○									○		○				37.5
8 (1) ②	(17) 米づくりについて、自分なりに予想を立て、課題を設定することができる	○									○	○			○		54.5
8 (2) ①	(18) 資料から、日本の農業の特色として適切な内容を読み取ることができる	○									○		○				55.9
8 (2) ②	(19) 品種改良を理解している	○										○	○				45.6
7 (3)	(20) 日本の農業が直面している高齢化と後継者不足という課題を解決していくための方策について、説明することができる	○									○	○			○		51.3

小学校第5学年 理科

分類・区別設問数

分類	区分	対象設問数 (問)	県全体正答率 (%)
問題	主として「知識」に関する問題	13	58.7
	主として「活用」に関する問題	7	53.5
学習指導要領の領域	物質	2	68.8
	エネルギー	5	57.4
	生命	11	53.3
	地球	2	63.2
評価の観点	自然現象への関心・意欲・態度	0	—
	科学的な思考・表現	6	51.7
	観察・実験の技能	4	50.9
	自然現象についての知識・理解	10	62.4
問題形式	選択式	7	63.6
	短答式	6	59.4
	記述式	7	48.0

設問別集計結果

設問番号	出題の趣旨	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	学習指導要領の領域				評価の観点		問題形式			県全体正答率 (%)
				物質	エネルギー	生命	地球	自然現象への関心・意欲・態度	科学的な思考・表現	観察・実験の技能	自然現象についての知識・理解	選択式	
1 (1)	(1) メダカの繁殖について基礎的な内容を理解している	○				○			○	○			54.2
1 (2)	(2) メダカの雌雄を判別する方法を理解している	○				○			○		○		55.6
1 (3)	(3) メダカの卵は日がつにつれて中の様子が変化していくことを理解している	○				○			○	○			47.8
2 (1)	(4) 正しく実験を行うためには、条件の制御が必要であることを理解している		○			○		○	○				64.5
2 (2)	(5) 正しい実験を行うために、必要な条件制御について記述できる		○			○		○			○		37.2
2 (3)	(6) 発芽のための条件について理解している	○				○			○	○			73.9
3 (1)	(7) 発芽に必要な養分をたくわえる、種子の部分の名称と、でんぷんの有無を調べる方法を理解している	○				○		○			○		25.7
3 (2)	(8) 種子の中の発芽に必要な部分を図の資料から読み取ることができる	○				○		○			○		59.1
3 (3)	(9) 植物がよく育つための条件について理解している	○				○			○	○			46.5
4 (1)	(10) 昆虫であるかどうかを判断し、昆虫のからだのつくりに基づいて判断の理由を記述できる	○				○		○			○		60.6
4 (2)	(11) モンシロチョウがキャベツ畑にたくさんいることの理由を記述できる	○				○		○			○		61.6
5 (1)	(12) 磁石をはさみで切ったときの極の向きについて、磁石の性質に基づき考察することができる	○				○		○			○		55.8
5 (2)	(13) 磁石に付けると磁石になる物があることを理解している	○				○			○	○			52.7
5 (3)	(14) 方位磁針の仕組みを理解している	○				○			○	○			61.5
6 (1)	(15) 水が凍る変化について、基本的事項を理解して	○				○			○	○			66.1
6 (2)	(16) 水の温度を下げたときの状態変化について理解して	○				○			○	○			71.4
7 (1)	(17) 電気を通すもの、通さないものについて理解している	○				○			○	○			81.1
7 (2)	(18) 乾電池の直列つなぎについて基礎的な用語を理解し、作図によって表現できる	○				○		○			○		36.0
8 (1)	(19) 方位磁針の正しい使い方を理解している	○				○		○		○			59.4
8 (2)	(20) 月の動きについて理解している	○				○			○	○			67.0

中学校第1学年 国語

分類・区分別設問数

分類	区分	対象設問数(問)	県全体正答率(%)
問題	主として「知識」に関する問題	21	66.2
	主として「活用」に関する問題	4	60.9
学習指導要領の領域	話すこと・聞くこと	2	37.6
	書くこと	1	61.9
	読むこと	7	64.1
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	17	67.1
評価の観点	話す・聞く能力	2	37.6
	書く能力	1	61.9
	読む能力	6	64.4
	言語についての知識・理解・技能	16	69.4
問題形式	選択式	15	66.4
	短答式	9	64.1
	記述式	1	61.9

設問別集計結果

設問番号	出題の趣旨	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	学習指導要領の領域				評価の観点			問題形式			県全体正答率(%)
				話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	
1	一	1	(1) 文脈に即して漢字を正しく書く(感心)	○				○			○	○		68.6
1		2	(2) 文脈に即して漢字を正しく読む(かわす)	○				○			○	○		73.2
1		3	(3) 文脈に即して漢字を正しく書く(優しく)	○				○			○	○		80.5
1	二		(4) 登場人物の言動の意味を考え、内容を理解する	○			○			○		○		80.9
1	三		(5) 文章の展開に即して会話文の主体を捉える	○			○			○		○		53.0
1	四		(6) 文章の展開に即して内容を理解する	○			○			○		○		54.3
1	五		(7) 文章に表れているものの見方や考え方をとらえ、自分の考えをまとめる		○		○			○		○		59.9
2	一	1	(8) 語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う(つじつまが合う)	○				○			○	○		77.8
2		2	(9) 語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う(手を焼く)	○				○			○	○		83.3
2		3	(10) 語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う(花が一輪)	○				○			○	○		83.8
2		4	(11) 語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う(石の上にも三年)	○				○			○	○		82.8
2	二	ア	(12) 熟語に使われている漢字の意味を正しく理解する(中毒)	○				○			○	○		60.9
2		イ	(13) 熟語に使われている漢字の意味を正しく理解する(中略)	○				○			○	○		66.1
2	三		(14) 字形を整え、文字の大きさ、配列に注意して書く	○				○			○	○		76.0
2	四		(15) 文の構成を理解し、主語を捉える	○				○			○	○		45.1
3	一	1	(16) 文脈に即して漢字を正しく書く(捨てる)	○				○			○	○		83.2
3		2	(17) 文脈に即して漢字を正しく書く(印象)	○				○			○	○		62.4
3		3	(18) 文脈に即して漢字を正しく読む(みちびく)	○				○			○	○		92.7
3	二		(19) 文脈に即して接続詞を適切に使う	○				○			○	○		41.9
3	三		(20) 場面の展開に即して適切な文を補う	○			○			○		○		62.6
3	四	(1)	(21) 主語と述語との関係を適切に捉えて話す	○		○		○	○			○		29.3
3		(2)	(22) 表現の技法について理解する(擬人法)	○				○			○	○		32.4
4	一		(23) 資料に書かれた情報をとらえる		○		○			○		○		75.9
4	二		(24) 話し言葉の特徴を理解してわかりやすく話す		○	○			○			○		45.9
4	三		(25) 資料から必要な情報を読み取り、根拠を明確にして自分の考えを書く		○		○			○		○		61.9

中学校第2学年 国語

分類・区分別設問数

分類	区分	対象設問数 (問)	県全体正答率 (%)
問題	主として「知識」に関する問題	19	63.1
	主として「活用」に関する問題	6	51.5
学習指導要領の領域	話すこと・聞くこと	2	55.0
	書くこと	3	48.8
	読むこと	12	49.9
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	11	72.6
評価の観点	話す・聞く能力	2	55.0
	書く能力	3	48.8
	読む能力	9	50.3
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する知識	11	72.6
問題形式	選択式	6	70.3
	短答式	17	57.2
	記述式	2	56.4

設問別集計結果

設問番号	出題の趣旨	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	学習指導要領の領域				評価の観点			問題形式			県全体正答率 (%)
				話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識	選択式	短答式	
1 一 1	(1) 文脈に即して漢字を正しく書く (笑った)	○					○			○	○		98.0	
1	(2) 文脈に即して漢字を正しく読む (けらい)	○					○			○	○		94.3	
1	(3) 文脈に即して漢字を正しく読む (めがね)	○					○			○	○		86.8	
1 二	(4) 文脈や描写に着目し、表現の意味を正しく捉える	○				○			○		○		79.1	
1 三	(5) 文脈に即して語句の意味を正しく捉える	○				○			○		○		60.4	
1 四	(6) 文脈や描写に着目して登場人物の心情を読み取る	○				○			○		○		19.5	
1 五	(7) 自分の考えを体験と関連づけて理由を明確にしながらかく		○		○	○			○			○	56.8	
2 一	(8) 歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読む (にわか)	○					○			○	○		71.0	
2 二	(9) 古典と現代文とを対応させて内容を捉える	○					○			○	○		36.4	
2 三	(10) 動作の主体を捉える	○					○			○	○		79.3	
2 四	(11) 古語の文脈上の意味を的確に捉える	○					○			○	○		73.3	
2 五	(12) 書き手のものの見方や考え方をつかむ	○					○			○	○		53.7	
3 一 1	(13) 文脈に即して漢字を正しく書く (似て)	○					○			○	○		83.4	
3	(14) 文脈に即して漢字を正しく読む (けいえん)	○					○			○	○		78.1	
3	(15) 文脈に即して漢字を正しく書く (過程)	○					○			○	○		44.2	
3 二	(16) 文章全体の構成や展開を捉える (接続詞の働き)	○				○			○		○		75.5	
3 三	(17) とらえた情報を、条件にあうように的確に表現する	○				○			○		○		51.3	
3 四	(18) 必要な情報を的確に読み取る	○				○			○		○		34.8	
3 五	(19) 前後の段落に注意しながら必要な情報を的確に読み取る	○				○			○		○		29.0	
3 六	(20) 必要な情報を読み取り、該当するものを選ぶ	○				○			○		○		50.3	
4 一	(21) 前後の表現に注意しながら、内容を的確に捉える		○	○				○			○		64.1	
4 二	(22) 必要な情報を読み取り、内容を的確に捉える		○	○				○			○		45.9	
4 三	(23) 読み取った情報を、的確に表現する		○		○				○		○		52.5	
4 四	(24) 読み取った情報を、条件に合うように的確に表現する		○		○	○			○		○		33.6	
4 五	(25) 自分の立場を決め、理由を適切に説明する		○		○	○			○			○	56.0	

中学校第1学年 数学

分類・区別設問数

分類	区分	対象設問数(問)	県全体正答率(%)
問題	主として「知識」に関する問題	16	64.0
	主として「活用」に関する問題	6	37.2
学習指導要領の領域	数と式	10	54.7
	図形	5	55.0
	関数	4	58.7
	資料の活用	3	63.3
		0	-
評価の観点	数学への関心・意欲・態度	6	37.2
	数学的な見方や考え方	8	49.5
	数学的な技能	8	72.3
	数量や図形などについての知識・理解	8	72.3
問題形式	選択式	6	65.8
	短答式	15	54.3
	記述式	1	37.2

設問別集計結果

設問番号	出題の趣旨	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	学習指導要領の領域				評価の観点			問題形式			県全体正答率(%)	
				数と式	図形	関数	資料の活用	数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	数量や図形などについての知識・理解	選択式	短答式		記述式
1 (1) (1)	分数と小数の乗法の計算ができる	○		○					○			○			71.4
1 (2) (2)	計算のまきりにしたがって計算することができる	○		○					○			○			67.0
1 (3) (3)	自然数の意味を理解している	○		○						○		○			62.9
1 (4) (4)	具体的な場面で数量の関係を捉え、比例式をつくることができる	○		○					○			○			-
2 (1) (5)	整式どうしの減法の計算ができる	○		○					○			○			53.2
2 (2) (6)	数量の関係を文字式で表すことができる	○		○								○			34.2
2 (3) (7)	1を超える割合を百分率で表す場面で、基準量と比較量の関係を理解している	○		○						○		○			64.2
2 (4) (8)	数量の大小関係を不等式で表すことができる	○		○					○			○			54.7
3 (1) (9)	二元一次方程式の解の意味を理解している	○		○						○		○			-
3 (2) (10)	一元一次方程式を解くことができる	○		○					○			○			60.6
3 (3) (11)	2通りに表される数量に着目し、文字を用いた式や数で表し、一元一次方程式をつくることができる	○		○					○			○			-
4 (1) (12)	直方体を構成する面について理解している	○			○					○		○			86.9
4 (2) (13)	三角定規の角の大きさを用いて、角の大きさを求めることができる	○			○					○		○			51.7
4 (3) (14)	展開図に示された円柱の側面の横の長さを求めることができる	○			○				○			○			57.1
5 (1) (15)	反比例の意味を理解している	○			○					○		○			50.7
5 (2) (16)	2つの数量の関係を捉え、数量関係の性質を選ぶことができる	○			○					○		○			87.8
6 (1) (17)	度数分布表から正しく情報を読み取ることができる	○			○					○		○			82.6
6 (2) (18)	度数分布表から最頻値の属する階級を求めることができる	○			○					○		○			91.4
7 (1) (19)	具体的な事象の中で、絶対値や正の数・負の数を使った計算ができる	○		○						○		○			47.3
7 (2) (20)	指定されたルールの中で、正の数・負の数の計算が活用できる	○		○					○			○			31.9
8 (1) (21)	具体的な事象の中で、最も適した概数を考察し、問題解決に活用することができる	○			○				○			○			15.9
8 (2) (22)	単位量当たりの大きさを理解し、およその個数を求めることができる	○			○				○			○			53.4
8 (3) (23)	単位量当たりの大きさをういて全体の個数を求めることができる	○			○				○			○			42.7
9 (1) (24)	与えられた情報や図をもとに角の大きさを使って、図形の性質を説明することができる	○		○									○		37.2
9 (2) (25)	与えられた説明の筋道を読み取り、図形の角の性質を使って説明を完成させることができる	○		○								○			42.3

中学校第2学年 数学

分類・区分別設問数

分類	区分	対象設問数(問)	県全体正答率(%)
問題	主として「知識」に関する問題	19	60.8
	主として「活用」に関する問題	6	25.4
学習指導要領の領域	数と式	14	57.4
	図形	6	47.3
	関数	4	34.7
	資料の活用	1	35.7
評価の観点	数学への関心・意欲・態度	0	-
	数学的な見方や考え方	6	25.4
	数学的な技能	12	58.3
	数量や図形などについての知識・理解	7	65.0
問題形式	選択式	10	56.9
	短答式	13	51.9
	記述式	2	31.6

設問別集計結果

設問番号	出題の趣旨	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	学習指導要領の領域				評価の観点			問題形式			県全体正答率(%)	
				数と式	図形	関数	資料の活用	数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	数量や図形などについての知識・理解	選択式	短答式		記述式
1 (1)	(1) 分数と小数の乗法の計算ができる	○		○					○			○			70.5
1 (2)	(2) 計算のきまりにしたがって計算することができる	○		○					○			○			76.8
1 (3)	(3) 自然数の意味を理解している	○		○						○	○				41.4
1 (4)	(4) 正の数と負の数の意味を、実生活の場面に結びつけて理解している	○		○						○		○			88.3
2 (1)	(5) 整式どうしの減法の計算ができる	○		○					○			○			77.5
2 (2)	(6) 数量の関係を文字式で表すことができる	○		○					○			○			32.4
2 (3)	(7) 等式の性質を用いて、目的に応じて式を変形することができる	○		○					○			○			74.6
2 (4)	(8) 1を超える割合を百分率で表す場面で、基準量と比較量の関係を理解している	○		○						○	○				64.6
3 (1)	(9) 二元一次方程式の解の意味を理解している	○		○						○	○				67.4
3 (2)	(10) 簡単な連立二元一次方程式を解くことができる	○		○						○		○			67.2
3 (3)	(11) 着目する必要がある数量を見だし、その数量に着目し連立二元一次方程式の意味を考察することができる	○		○					○			○			89.6
4	(12) 角の二等分線の作図について正しく意味を理解している	○			○					○	○				45.9
5 (1)	(13) 直方体を構成する面について理解している	○								○	○				87.8
5 (2)	(14) 円周の長さを直径から求めることができる	○			○				○			○			44.8
5 (3)	(15) 正四角錐の体積を求めることができる	○			○				○			○			39.0
6 (1)	(16) 反比例の意味を理解している	○			○					○	○				59.5
6 (2)	(17) 一次関数の表から、変化の割合を求めることができる	○			○				○			○			45.8
6 (3)	(18) 反比例のグラフから表を選ぶことができる	○			○				○			○			46.3
7	(19) 度数分布表から相対度数を求めることができる	○					○		○			○			35.7
8	(20) 文字を用いて、関係や法則を式にしたり、式の意味を読みとったり、式を計算したりすることができる		○	○						○			○		31.0
9	(21) 具体的な事象の中にある二つの数量の変化や対応を調べることを通して、関係や変化をとらえることができる		○		○				○				○		32.2
10 (1)	(22) 与えられた情報をよみとり、事象を数学的に解釈することができる		○		○				○			○			22.0
10 (2)	(23) 具体的な事象の中にある図形的な特徴を読みとることができる		○		○				○			○			44.6
11 (1)	(24) 具体的な事象を数学的にとらえ、文字式で表すことができる		○	○					○				○		7.4
11 (2)	(25) 必要な情報を読みとり、正の数・負の数の計算を通して、数学的に解決することができる		○	○					○				○		15.3

中学校第2学年 社会（地理的分野）

分類・区分別設問数

分類	区分	対象設問数（問）	県全体正答率（%）
問題	主として「知識」に関する問題	8	48.0
	主として「活用」に関する問題	5	33.1
学習指導要領の領域	世界の地域構成	3	50.2
	世界各地の人々の生活と環境	2	68.2
	世界の諸地域	5	48.3
	世界のさまざまな地域の調査	0	-
	日本の地域構成	1	34.0
	世界と比べた日本の地域的特色	2	27.2
評価の観点	社会的事象への関心・意欲・態度	0	-
	社会的な思考・判断・表現	3	33.7
	資料活用の技能	6	40.2
	社会的事象についての知識・理解	4	48.5
問題形式	選択式	8	48.5
	短答式	2	44.1
	記述式	3	27.6

設問別集計結果

設問番号	出題の趣旨	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	学習指導要領の領域						評価の観点			問題形式			県全体正答率（%）
				世界の地域構成	世界各地の人々の生活と環境	世界の諸地域	世界のさまざまな地域の調査	日本の地域構成	世界と比べた日本の地域的特色	社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての知識・理解	選択式	短答式	
1 (1)	(1) 東京を中心とした正距方位図法から、地球表面の姿を読み取ることができる	○	○								○	○		61.6		
1 (2)	(2) 東京を中心とした正距方位図法から、地球表面の姿を読み取ることができる	○	○							○	○		38.0			
1 (3)	(3) 写真資料から、世界各地の様子を読み取ることができる	○	○							○	○		51.1			
2 (1)	(4) 世界の主な宗教の分布について理解している	○		○							○	○	73.4			
2 (2)	(5) 特色ある自然環境（乾燥帯）と生活様式（住居）を関連付けて、選択肢から正しいものを選ぶことができる		○	○					○		○		62.9			
3 (1)	(6) アジア州の地域区分について正しく理解している	○			○						○	○	72.6			
3 (2)	(7) 東南アジアの地域的な結びつきについて理解している	○			○						○	○	52.1			
3 (3)	(8) 資料から、東南アジアの地域的特色について読み取ることができる		○		○					○		○	26.5			
4 (1)	(9) 資料から、アフリカの地域的特色について読み取ることができる	○			○					○	○		62.6			
4 (2)	(10) 複数の資料から読み取ることのできる情報をもとに、アフリカの産業の課題について説明することができる		○		○				○			○	27.7			
5 (1)	(11) 日本の都道府県の位置や地方区分について正確に理解している	○				○				○	○		34.0			
5 (2)	(12) 資料から、日本の交通の発達の様子について選択肢から正しいものを選ぶことができる		○				○			○	○		29.7			
5 (3)	(13) 複数の資料から読み取ることのできる情報をもとに、日本の農業の特色について説明することができる		○				○		○			○	24.6			

中学校第2学年 社会 (歴史的分野)

分類・区別設問数

分類	区分	対象設問数 (問)	県全体正答率 (%)
問題	主として「知識」に関する問題	8	48.0
	主として「活用」に関する問題	4	33.1
学習指導要領の領域	歴史のとらえ方	1	23.1
	古代までの日本	3	42.0
	中世の日本	7	34.1
	近世の日本	5	46.8
評価の観点	社会的事象への関心・意欲・態度	0	-
	社会的な思考・判断・表現	3	33.7
	資料活用の技能	1	40.2
	社会的事象についての知識・理解	8	48.5
問題形式	選択式	6	48.5
	短答式	3	44.1
	記述式	3	27.6

設問別集計結果

設問番号	出題の趣旨	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	学習指導要領の領域				評価の観点			問題形式			県全体正答率 (%)
				歴史のとらえ方	古代までの日本	中世の日本	近世の日本	社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象についての知識・理解	選択式	短答式	
6 (1)	(14) 聖徳太子、足利義満の行った政治について理解している	○		○	○				○	○		56.0		
6 (2)	(15) 室町時代のできごとについて理解している	○			○				○	○		34.8		
6 (3)	(16) 「鎖国」下における我が国の対外関係について理解している	○				○			○	○		59.2		
7 (1)	(17) 年代(世紀)の表し方について理解している	○	○						○		○	23.1		
7 (2)	(18) 各時代と関係の深い中国の王朝名について理解している	○		○	○				○	○		42.2		
7 (3)	(19) 資料から、鎌倉幕府、室町幕府、江戸幕府のしくみを読み取ることができる		○		○	○		○		○		39.6		
7 (4)	(20) 南蛮貿易、朱印船貿易の特徴について説明することができる		○			○		○			○	23.0		
8 (1)	(21) 奈良の大仏に関係の深い人物と文化について理解している	○		○					○		○	27.9		
8 (2)	(22) 応仁の乱後の下剋上の風潮について説明することができる		○		○			○			○	43.0		
8 (3)	(23) 江戸時代の大阪のようすについて理解している	○				○			○	○		44.0		
9 (1)	(24) 源頼朝の政策と江戸時代の農業の様子について理解している	○			○	○			○	○		35.3		
9 (2)	(25) 承久の乱、刀狩についてその内容と結果について説明することができる		○		○			○			○	20.9		

中学校第2学年 理科

分類・区分別設問数

分類	区分	対象設問数(問)	県全体正答率(%)
問題	主として「知識」に関する問題	17	43.8
	主として「活用」に関する問題	8	42.6
学習指導要領の領域	物質	6	33.3
	エネルギー	7	39.3
	生命	8	51.8
	地球	4	48.9
評価の観点	自然現象への関心・意欲・態度	0	-
	科学的な思考・表現	8	47.6
	観察・実験の技能	3	70.2
	自然現象についての知識・理解	14	35.2
問題形式	選択式	7	48.2
	短答式	13	35.8
	記述式	5	56.4

設問別集計結果

設問番号		出題の趣旨	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	学習指導要領の領域				評価の観点			問題形式	県全体正答率(%)
					物質	エネルギー	生命	地球	自然現象への関心・意欲・態度	科学的な思考・表現	観察・実験の技能		
1	(1)	(1) 化学変化によって、原子の種類が変化しないことを理解している。	○	○						○	○		17.8
1	(2)	(2) 気体の発生の方法について、理解している。	○	○						○	○		39.3
1	(3)	(3) 水溶液の性質及び溶解度について理解している。		○	○			○				○	38.1
2	(1)	(4) 糖の検出方法について理解している。	○			○				○	○		34.6
2	(2)	(5) 実験条件の設定の理由について理解している。		○		○			○			○	74.9
2	(3)	(6) 対照実験について、変える条件と変えない条件を判断できる。		○		○			○		○		61.0
3	(1)	(7) 顕微鏡を正しく操作することができる。	○			○			○		○		64.8
3	(2)	(8) 顕微鏡を正しく操作することができる。	○			○			○		○		71.2
3	(3)	(9) マツの花のつくりについて理解している。	○			○				○	○		26.8
4	(1)	(10) 複数の実験結果から、考察のために必要なものを選択することができる。		○		○			○		○		35.9
4	(2)	(11) 複数の実験結果から、考察のために必要なものを選択することができる。		○		○			○		○		45.0
5	(1)	(12) 溶媒と溶質について理解し、質量パーセント濃度を求めることができる。	○	○						○	○		16.5
5	(2)	(13) 溶解度曲線から、温度が低下することによって溶質が析出することを読み取ることができる。		○	○			○			○		49.3
5	(3)	(14) 溶質を取り出す方法について、理解している。	○	○						○		○	38.7
6	(1)	(15) 実験結果を正しくグラフに表すことができる。	○			○			○			○	74.6
6	(2)	(16) 重りの重さとばねの伸びが比例していることを理解している。	○			○				○	○		82.8
6	(3)	(17) 浮力について理解している。	○							○	○		8.6
6	(4)	(18) フックの法則について		○	○			○			○		20.9
7	(1)	(19) 音の速さを求めることができる。	○			○				○	○		17.0
7	(2)	(20) 音が伝わる時間と速さから、距離を計算することができる。		○	○					○	○		15.4
7	(3)	(21) 音の速さと光の速さについて理解している。	○					○				○	55.5
8	(1)	(22) 震度とマグニチュードの違いを理解している。	○				○			○	○		40.7
8	(2)	(23) 地震を引き起こす波と、揺れについて理解している。	○				○			○	○		52.1
8	(3)	(24) 地震による災害について理解している。	○				○			○	○		83.0
8	(4)	(25) 岩石の種類と特徴について理解している	○				○			○	○		19.9

中学校第2学年 英語

分類・区別設問数

分類	区分	対象設問数 (問)	県全体正答率 (%)
問題	主として「知識」に関する問題	18	49.0
	主として「活用」に関する問題	5	21.6
学習指導要領の領域	聞く	6	61.8
	読む	12	42.4
	書く	5	21.6
	表現	5	21.6
評価の観点	理解	15	46.1
	言語・文化	3	62.6
	選択式	14	54.9
問題形式	短答式	2	15.4
	記述式	7	26.9

設問別集計結果

設問番号	出題の趣旨	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題	学習指導要領の領域			評価の観点			問題形式			県全体正答率 (%)
				聞く	読む	書く	表現	理解	言語・文化	選択式	短答式	記述式	
1 (1) 1	英語を聞いて絵の状況を適切に表現しているものを選ぶ	○		○			○		○				65.4
1 (2) 2	英語を聞いて絵の状況を適切に表現しているものを選ぶ	○		○			○		○				95.3
2 (1) 3	英語で何を問われているかを理解し、適切な答えを選ぶ	○		○			○		○				51.1
2 (2) 4	英語で何を問われているかを理解し、適切な答えを選ぶ	○		○			○		○				78.6
2 (3) 5	英語で何を問われているかを理解し、適切な答えを選ぶ	○		○			○		○				—
3 (1) 6	英語の対話文を聞いて、その内容についての質問に対する答えを選ぶ	○		○			○		○				65.3
3 (2) 7	英語の対話文を聞いて、その内容についての質問に対する答えを選ぶ	○		○			○		○				—
3 (3) 8	英語の対話文を聞いて、その内容についての質問に対する答えを選ぶ	○		○			○		○				15.3
4 (1) 9	英文を読み、内容から考えて空所に入る適切な語を選ぶ	○			○				○	○			48.2
4 (2) 10	英文を読み、内容から考えて空所に入る適切な語を選ぶ	○			○				○	○			72.0
4 (3) 11	英文を読み、内容から考えて空所に入る適切な語を選ぶ	○			○				○	○			67.6
5 (1) 12	英語で書かれた情報を読み取り、質問に対する適切な答えを選ぶ	○			○			○		○			35.5
5 (2) 13	英語で書かれた情報を読み取り、質問に対する適切な答えを選ぶ	○			○			○		○			40.0
5 (3) 14	英語で書かれた情報を読み取り、質問に対する適切な答えを選ぶ	○			○			○		○			41.5
6 (1) 15	英語で書かれた情報を読み取り、質問に日本語で答える	○			○			○			○		58.8
6 (2) 16	英語で書かれた情報を読み取り、質問に対する適切な答えを選ぶ	○			○			○		○			47.9
6 (3) 17	英文の内容から判断して、状況に合う適切な単語を選ぶ	○			○					○			45.0
6 (4) 18	英語で書かれた情報を読み取り、質問に日本語で答える	○			○			○			○		21.7
7 (1) 19	前後の英文から意味のつながりを考えて、空所に入る適切な英文を書く		○			○					○		19.3
7 (2) 20	前後の英文から意味のつながりを考えて、空所に入る適切な英文を書く		○			○					○		15.3
7 (3) 21	前後の英文から意味のつながりを考えて、空所に入る適切な英文を書く		○			○					○		18.3
8 (1)ア 22	英文を読み、その内容に関する質問に対して英語で答える	○			○			○			○		22.7
8 (1)イ 23	英文を読み、その内容に関する質問に対して英語で答える	○			○			○			○		8.1
8 (2) 24	前後の文脈に合うように、空所に入る適切な英文を書く		○			○					○		18.7
8 (3) 25	条件に合うように内容を考えて英文を書く		○			○					○		36.2